

# パフォーマンスシリーズ

1080p IP PTZ

HDZP252DI

## ユーザーガイド

### 推奨事項

Honeywellビデオのウェブサイトで、本最新版やその他のパフォーマンスシリーズ IP カメラの文書を入手してください。

<http://www.honeywellvideo.com/products/cameras/ip/index.html> にアクセスしてください。



オープンで統合的なソリューションの詳細については、Honeywellオープン・テクノロジー・アライアンス



(<http://www.security.honeywell.com/hota/>) をご覧ください。



## 改訂

発行	日付	改訂
A	02/2017	800-21358-Aに基づき、1080p IR PTZ IP カメラのマニュアルを新規作成。

## 注意および警告

	<p><b>CAUTION</b> RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p>		<p>THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.</p>
<p>CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.</p>			<p>THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.</p>

**⚠ 警告** すべての現地法規を遵守し、保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。

**⚠ 警告** この製品は、電気安全基準の遵守を確実にするために、ユニットに「Limited Power Source」（専用電源）または「LPS」と表示された定格電力アダプタ（定格12VDC、最小0.7 A、TMA = 60°C）での使用、または、IEEE 802.3af PoE標準に適合した情報技術装置によって提供されるPoE（パワー・オーバー・イーサネット）を通じた使用を意図していません。

イーサネット接続は、公開されたネットワーク（屋外施設など）に接続することを目的としていません。カメラに同時に2つの電源を接続しないでください。

**⚠ 警告** EN50130-4の要件を遵守するため、24 VACからカメラに給電するときはUPSを採用してください。

**注意** 不可視LED放射線（850 nm）光線を見ないでください

---

## 規格との適合

---

### FCC遵守声明

**使用者のための情報：**本装置は、FCC規格Part 15に基づくクラスBデジタルデバイスに準拠していることが試験で確認されています。これら規格は、住宅地での有害な電波干渉を防止するためのものです。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、場合によっては放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。ただし、設置状況によっては干渉が全く起きないという保証はありません。本装置によりラジオやテレビの受信障害が発生した場合（本装置の電源オン/オフで判断できます）、干渉防止のため、以下の対策を試してください。

- 受信アンテナの向きや設置場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を離す。
- 受信機が接続している回路とは別の回路のコンセントに本装置を接続する。
- 取扱店またはテレビやラジオの技術者に問い合わせる。

---

**注** 法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本製品を使用する権利を剥奪されることがあります。

---

### 遵守声明（カナダ）

このクラスBデジタルデバイスはカナダのICES-003に準拠しています。  
Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

### メーカーの適合宣言

本機器には本ガイドが付属し、欧州連合理事会の指令2014/30/EU for EMC、2001/95/EC for safety、2011/65/EU for RoHS complianceの条項を満たしています。

### 廃電気・電子機器指令（WEEE）



本製品の正しい処分（個別の回収システムを適用しているEUと他のヨーロッパ諸国にも該当）。

この製品は、該当する地域の法律、規制、および手順に従って、耐用年数終了後に処分する必要があります。

---

## 安全の手引き

---

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んで従ってください。設置後は、後で参照できるように、安全および操作説明書を保管してください。

1. ご注意ください-本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。
2. 設置
  - 製造元の指示に従って取り付けしてください。
  - すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
  - 製品を壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。
3. 電源-本製品は、マーキングラベルに記載されている種類の電源からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。
4. 取り付けシステム-製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。
5. 付属品/アクセサリ-製品の製造元が推奨しない付属品/アクセサリを使用しないでください。火災、感電、人身傷害の危険があります。
6. 清掃-液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。
7. 修理-本機をお客様自身で修理しようとししないでください。修理の際は必ず資格のある保守担当者に依頼してください。
8. 交換部品-交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。元の製造元以外で製造された交換部品またはアクセサリを使用すると、保証が無効になることがあります。

---

## 保証とサービス

---

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywellは、単独裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。

Honeywell製品に問題がある場合は、カスタマーサービスまでご連絡（1800.323.4576）いただき、サポートを依頼するか、**返品保証（RMA）**番号をリクエストしてください。テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。すべての返品、交換または返金については事前の承認が必要です。**明確に識別された返品保証（RMA）**番号を添付することなくHoneywellに製品を発送すると、拒否される場合があります。

## 記号の一覧

以下は、カメラに表示される可能性のある記号の一覧です。

記号	説明
	WEEE記号。 この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物と分別することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が保護されます。
	UL適合ロゴ。 このロゴは、製品がテストされ、UL（旧Underwriters Laboratories）によってリストされていることを示します。
	FCC適合ロゴ。 このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。
	直流記号。 この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示しています。
	交流記号。 この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示しています。
	RCM適合ロゴ。 このロゴは、製品がオーストラリアのRCMガイドラインに適合していることを示しています。
	CE適合ロゴ。 このロゴは、製品が関連する欧州連合の調和された法令のガイドライン/規格に適合していることを示しています。
	注意記号。 この記号は重要な情報を示します。
	保護接地（アース）記号。 この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。

# コンテンツ

コンテンツ .....	7
この文書について .....	9
コンテンツの概要.....	9
表記方法 .....	10
<b>1</b> はじめに .....	<b>11</b>
概要.....	11
主な機能.....	12
<b>2</b> 構成ツールによる準備.....	<b>13</b>
構成ツールIPユーティリティのインストール .....	13
ネットワーク上でのデバイス検出.....	14
デバイスへの新しいIPアドレスの割り当て .....	14
デバイスのファームウェアのアップグレード.....	15
Webクライアントの起動.....	18
<b>3</b> ログインとライブビデオの表示.....	<b>19</b>
Webクライアントからのカメラへのログイン.....	19
作業を開始する前に.....	19
カメラへのログイン.....	19
ブラウザプラグインのインストール .....	20
ライブビューインターフェースの使用.....	21
動画エンコーダのコントロール.....	22
システムメニュー .....	23
ライブビューコントロール .....	23
ライブビューウィンドウの構成.....	24
PTZコントロール .....	24
<b>4</b> 動画の再生 .....	<b>27</b>
はじめに .....	27
再生インターフェースの概要.....	27
録画した動画の再生.....	28
再生コントロール .....	28
カレンダーからの録画ファイルの再生.....	29
録画タイプによるファイルの検索 .....	31
タイムラインの構成.....	31
Playback Assistant [再生アシスタント]の使用 .....	31
ズームインとズームアウト .....	31
スナップショットの撮り方 .....	31
ビデオクリップの作成.....	32
スナップショットの表示 .....	32
<b>5</b> カメラ設定の構成.....	<b>35</b>
カメラ設定の構成.....	35
条件.....	35
Profile Management [プロファイル管理] .....	47
動画設定 .....	47
Snapshot [スナップショット] .....	49
Video Overlay [動画重ね表示] .....	50

ROI .....	51
パス .....	51
<b>ネットワーク設定の構成 .....</b>	<b>52</b>
TCP/IP .....	52
P2P .....	53
接続 .....	54
PPPoE .....	56
DDNS .....	56
IPフィルタ .....	57
SMTP (Eメール) .....	59
UPnP .....	60
Bonjour .....	61
マルチキャスト .....	61
IEEE802.1X .....	62
QoS .....	63
<b>ストレージ設定の構成 .....</b>	<b>64</b>
スケジュールとスナップショットスケジュールの記録 .....	64
送信先 .....	65
録画コントロール .....	67
<b>システム設定の構成 .....</b>	<b>68</b>
一般システム設定 .....	68
アカウント設定 .....	70
出荷時設定の復元 .....	73
インポート/エクスポート .....	74
自動メンテナンス .....	74
Upgrade [アップグレード] .....	75
<b>システム情報の表示 .....</b>	<b>75</b>
Version [バージョン] .....	75
Log [ログ] .....	75
Online User [オンラインユーザー] .....	76
Life Statistics [生活統計] .....	77
<b>6 PTZ機能 .....</b>	<b>79</b>
<b>PTZ機能の設定 .....</b>	<b>79</b>
PTZプリセット位置のプログラミング .....	79
PTZツアーのプログラミング .....	81
PTZスキンの構成 .....	82
PTZパターンの設定 .....	83
パン設定の構成 .....	85
PTZ移動速度の構成 .....	85
PTZアイドルモーションアクションの構成 .....	86
パワーアップアクションの構成 .....	87
時間タスクアクションの構成 .....	88
PTZカメラのリスタート .....	89
PTZ出荷時設定の復元 .....	89
<b>7 イベントとアラームの設定 .....</b>	<b>91</b>
<b>イベントの設定 .....</b>	<b>91</b>
モーション検出の構成 .....	91
ビデオタンパリングの構成 .....	95
オーディオ検出の構成 .....	96
スマートプランの構成 .....	97
顔検出の構成 .....	98
異常の構成 .....	99
<b>アラームの設定 .....</b>	<b>101</b>
<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>103</b>
<b>カメラの仕様 .....</b>	<b>105</b>
<b>HDZP252DI PTZドームカメラ .....</b>	<b>105</b>



## この文書について

この文書では、パフォーマンスシリーズ 1080p IP PTZ のアクセス、設定、および操作方法について説明します。対象者は、システムインストールの担当者、管理者、および操作者です。

---

## コンテンツの概要

---

この文書には、以下の章と付録が含まれています。

- [第1章「はじめに」](#)では、パフォーマンスシリーズ 1080p IP PTZ の主な機能の概要を示します。
- [第2章「構成ツールによる準備」](#)では、Webブラウザからリモートでカメラにアクセスするための構成ツールのインストール方法について説明します。カメラのファームウェアをアップデートする方法についても説明します。
- [第3章「ログインとライブビデオの表示」](#)では、カメラおよびライブビューインターフェースへのログイン方法について説明します。
- [第4章「動画の再生」](#)では、録画した動画とスナップショットの検索方法、およびそのエクスポート方法について説明します。
- [第5章「カメラ設定の構成」](#)では、ネットワークやストレージの構成など、カメラのすべての構成について説明します。
- [第6章「PTZ機能」](#)では、プリセット、ツアー、自動スキャンなど、PTZ機能のプログラミングについて説明します。
- [第7章「イベントとアラームの設定」](#)では、アラーム入力、モーション検出、およびネットワーク障害イベントの通知を設定する方法を示します。
- [付録A「トラブルシューティング」](#)では、一般的な問題とその解決方法について説明します。
- [付録B「カメラ仕様」](#)では、パフォーマンスシリーズ1080p IP PTZの仕様を示します。

## 表記方法

この文書では、以下の表記方法を使用しています。

フォント	表示するもの	例
Helvetica Narrow	キーボード上のキー	Ctrl+Cを押します。
Lucida	参考のためにマニュアルの本文で説明するが、手順の一部として入力する必要がない編集可能フィールドの値	Time from [開始時刻]フィールドは、「時:分:秒」の形式で設定できます。
	画面に表示されるテキスト文字列	メッセージ「Valid (有効)」が表示されます。
Swiss721 BT Bold	入力する単語または文字。テキストを入力してからEnterキーまたはReturnキーを押す必要がある場合は、「入力」という語句を使用します。	パスワードを入力します。
	選択したメニュータイトルなどの項目	File [ファイル]メニューのOpen [開く]をダブルクリックします。
	アクションを実行するためにクリックするボタン	Exit [終了]をクリックしてプログラムを閉じます。
イタリック	プレースホルダー：状況に応じて異なる語句	ユーザー名を入力してください。
	マニュアル内の外部ソースへの相互参照	『システム管理者ガイド』を参照してください。第2章「設置」を参照してください。

# 1

## はじめに

この章は以下の項で構成されています。

- [概要、11ページ](#)
- [主な機能、12ページ](#)

---

## 概要

---

Honeywellのパフォーマンスシリーズ 1080p IR PTZ IP カメラは、動画データの収集と伝送を組み合わせたネットワークビデオ技術を従来のカメラと統合しています。柔軟性に優れたこれらの高機能PTZカメラは、屋内のさまざまな監視アプリケーションに適しています。

Honeywell 8-/16-/32-/64チャンネルフォーカス4K埋め込み型NVRとのプラグアンドプレイ互換性を持つこのカメラは、最大30/25 (NTSC/PAL) フレーム/秒で1080pの解像度を提供し、最高の動画品質を保証しながらH.264動画圧縮技術を使用して帯域幅とストレージを節約します。すべてのカメラは、インテリジェントなIR機能を備えたツールレーダイナイトで、薄暗い照明や夜間での環境下において最大100 mの視認可能性を提供します。

各カメラには、設定可能なモーション検出および顔面検出の動画分析機能が付属しています。

1080p PTZカメラは12VDCアダプタに加えてPoE (パワー・オーバー・イーサネット) をサポートしているため、別個の電源および配線が不要です。カメラは、ネットワークサービス中断時に録画を継続するため、マイクロSDHCカードへのビデオ録画 (最大128 GB) もサポートします。

パフォーマンスシリーズ 1080p IR PTZ IP カメラは、無料のHonView Touchモバイルアプリを使用して、AppleとAndroidの両方のスマートフォンとタブレットからいつでも、どこからでも監視できます。

---

## 主な機能

---

パフォーマンスシリーズ 4K IP カメラの主な機能は次のとおりです。

カメラ本体	<ul style="list-style-type: none"><li>• デイ/ナイトモード自動切り替え</li><li>• 電子シャッターやゲインなどの画像パラメータの設定</li><li>• モーション検出</li><li>• 逆光補正</li><li>• 修正を防ぐための動画透かし追加機能</li><li>• 定義領域を簡単に監視するためのプログラム可能PTZツアー、パターン、プリセット</li><li>• IRナイトビジョン</li></ul>
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 中央サーバーバックアップ（アラームまたはスケジュール設定で構成）</li><li>• インターネット経由での録画、クライアントPCへのファイル保存</li><li>• ネットワーク記憶装置（FTP）</li><li>• マイクロSDHCカードストレージ（128 GBまで）</li></ul>
ネットワークモニタリング	<ul style="list-style-type: none"><li>• ネットワーク端末への1チャンネルビデオデータ伝送およびデコード</li><li>• 270ミリ秒未満の遅延時間（ネットワーク帯域幅のサポートが必要）</li><li>• 最大20接続</li><li>• 以下ネットワークプロトコルとの互換性：IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IPフィルタ、QoS</li></ul>
ネットワーク管理	<ul style="list-style-type: none"><li>• イーサネットによるカメラの設定と管理</li><li>• インターネットまたはクライアントPCによるデバイス管理</li></ul>
ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none"><li>• 各ユーザーが特定のグループに所属</li><li>• グループごとに異なるユーザー権限</li><li>• グループ権限を超えないユーザー権限</li></ul>
システム管理	<ul style="list-style-type: none"><li>• ログ機能</li><li>• システムリソース情報とリアルタイムステータス表示の実行</li></ul>

# 2

## 構成ツールによる準備

この章は以下の項で構成されています。

- [構成ツールIPユーティリティのインストール、13ページ](#)
- [ネットワーク上でのデバイス検出、14ページ](#)
- [デバイスへの新しいIPアドレスの割り当て、14ページ](#)
- [デバイスのファームウェアのアップグレード、15ページ](#)
- [Webクライアントの起動、18ページ](#)

---

## 構成ツールIPユーティリティのインストール

---

カメラの使用を開始する前に、お使いのPCに構成ツールIPユーティリティをインストールする必要があります。

1. カメラに同梱されたソフトウェアCDをPCのディスクドライブに挿入します。
2. **Honeywell Config Tool**フォルダを開いて、**Honeywell ConfigTool.exe**をダブルクリックします。
3. 構成ツールの最初の画面で**Next [次へ]**をクリックします。
4. ユーザーライセンス契約を確認します。同意する場合は**I agree [同意します]**を選択します。
5. インストール先は必要に応じて変更することができます（構成ツールはデフォルトではC:\Program Files にインストールされます）。インストールを続行するには**Install [インストール]**をクリックします。
6. インストールが成功すると"Installation is complete!"（インストールが成功しました）というメッセージが表示されます。**Enjoy Now [それではお楽しみください]**をクリックして構成ツールを開きます。

## ネットワーク上でのデバイス検出

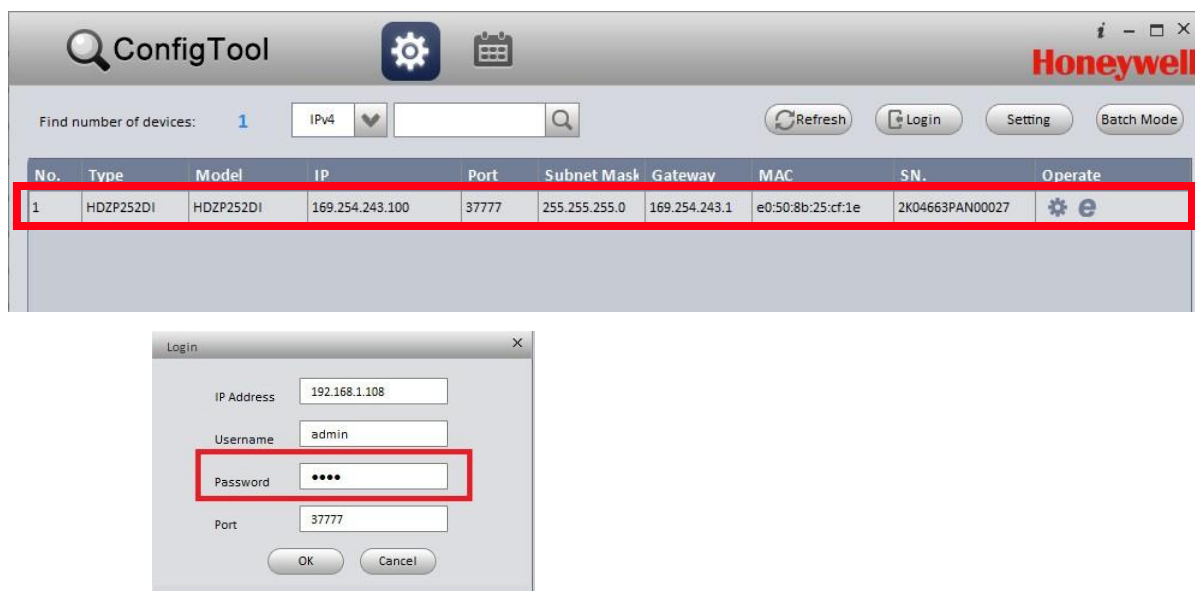
構成ツールを使用して、ネットワーク上のIPデバイスを検出します。デバイスを検出するには構成ツールを開きます。ネットワーク上に接続されているすべてのIPデバイスが一覧表示されます。リストを更新するにはRefresh [更新]をクリックします。

## デバイスへの新しいIPアドレスの割り当て

デバイスの現在のIPアドレスは、構成ツールメインインターフェースのIP列に表示されます。必要に応じて新しい静的IPアドレスをデバイスに割り当てることができます。

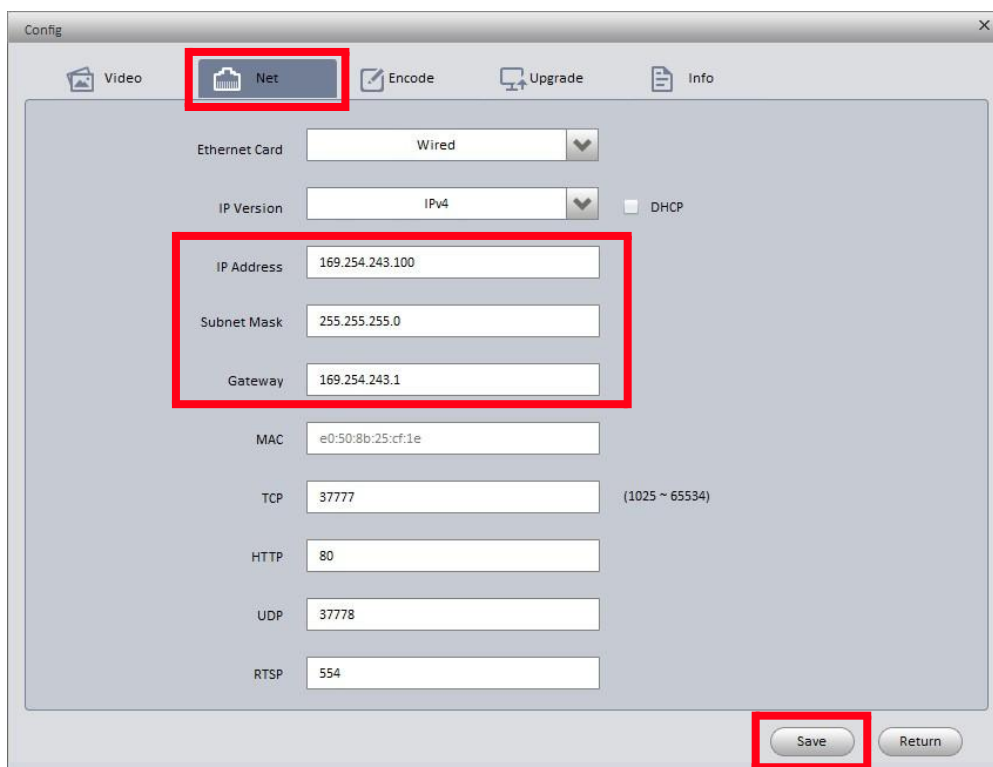
1. 構成ツールのデバイスリストから、新しいIPアドレスを割り当てるデバイスを選択します。
2. Login [ログイン]をクリックします。デバイスのログインユーザー名とパスワードを入力（デフォルトユーザー名はadminでデフォルトパスワードは1234）して、OKをクリックします。

図2-1 デバイスへのログイン



3. Config [構成]画面のNet [ネット]タブをクリックします（図2-2を参照）。IP Address [IPアドレス]、Subnet Mask [サブネットマスク]、Gateway [ゲートウェイ]の各フィールドに新しいIP設定を入力し、Save [保存]をクリックします。

図2-2 ネットワーク設定



---

## デバイスのファームウェアのアップグレード

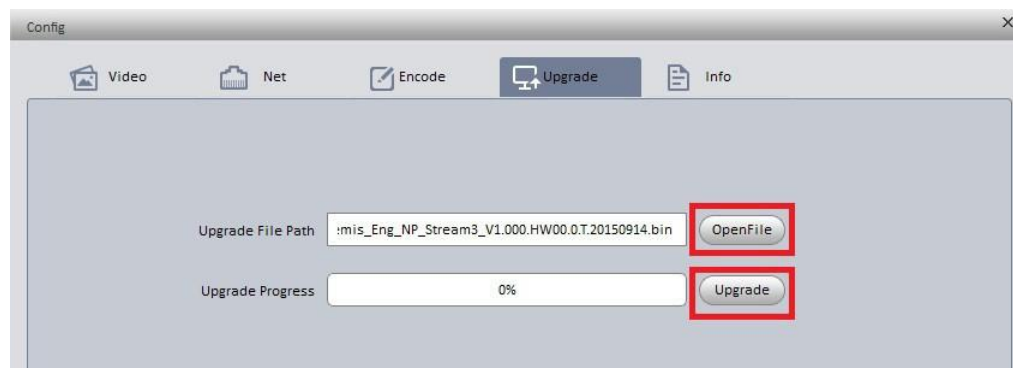
---

カメラの使用前に、最新のファームウェアがインストールされていることを確認してください。単一のデバイスをアップグレードするか、複数のデバイスを同時にアップグレードできます。

### 単一のデバイスをアップグレードするには：

1. アップグレードするデバイスを構成ツールのデバイスリストから選択します。
2. **Login [ログイン]**をクリックします。デバイスのログインユーザー名とパスワードを入力（デフォルトユーザー名はadminでデフォルトパスワードは1234）して、**OK**をクリックします。
3. **Config [構成]**画面の**Upgrade [アップグレード]**タブをクリックします（[図2-3](#)を参照）。
4. **OpenFile [ファイルを開く]**をクリックしてファームウェアファイルを含むディレクトリに移動し、**Upgrade [アップグレード]**をクリックします。

図2-3 アップグレード画面



アップグレードが完了すると、デバイスは再起動します。デバイスの再起動中には、メッセージ「Device is offline: [device IP address][デバイスはオフラインです[デバイスのIPアドレス]]」が表示されます。

#### 複数のデバイスを同時にアップグレードするには：

1. 構成ツールのBatch Mode [バッチモード]をクリックします。

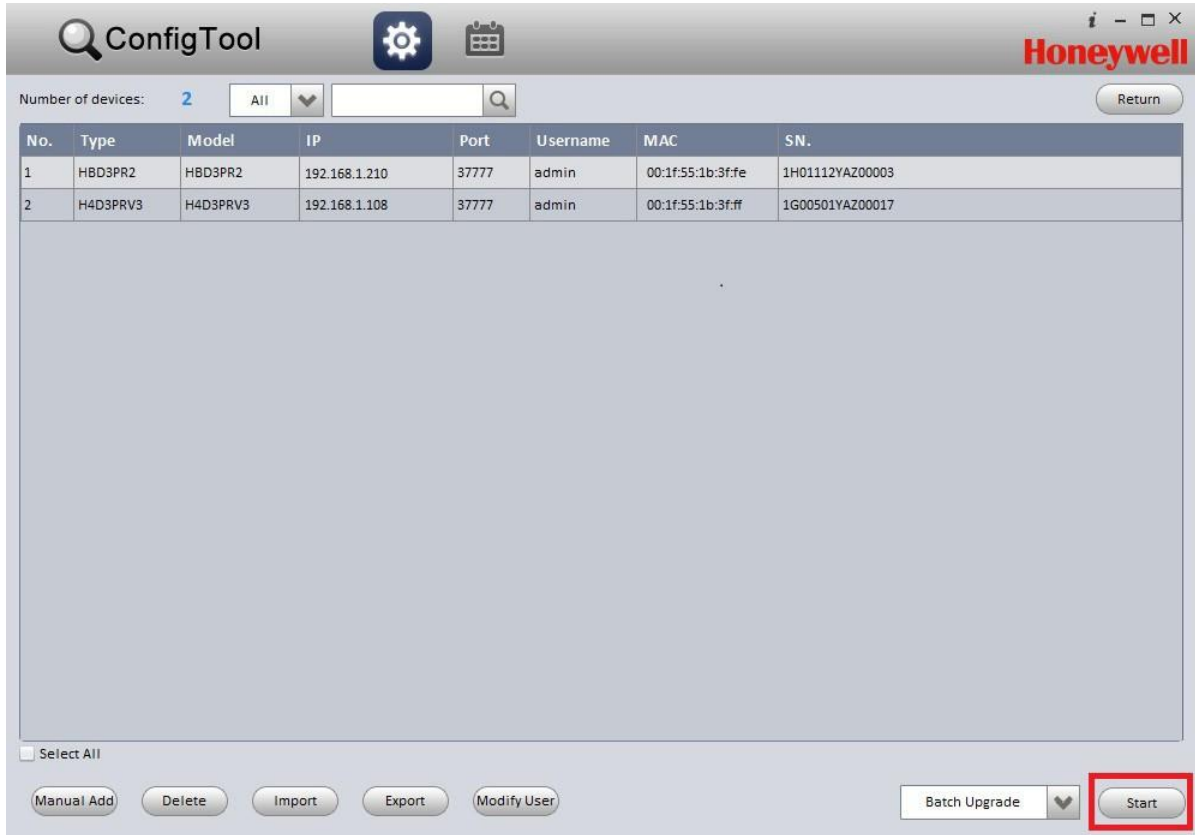
図2-4 バッチモードの選択



2. アップグレードするすべてのデバイスをデバイスリストでクリックして選択し、Start [スタート]をクリックします（図2-5を参照）。複数のデバイスを選択するには、Ctrlキーを押したまま選択します。



図2-5 バッチモード画面



3. Batch Upgrade [バッチアップグレード]画面のOpen [開く]をクリックします (図2-6を参照)。ファームウェアファイルを含むディレクトリに移動し、OKをクリックします。

図2-6 バッチアップグレードダイアログボックス



アップグレードが完了すると、デバイスは再起動します。デバイスの再起動中には、メッセージ「Device is offline: [device IP address][デバイスはオフラインです[デバイスのIPアドレス]]」が表示されます。

---

## Webクライアントの起動

---

それぞれのカメラ設定は、Webクライアントを使用して構成できます（詳細については、[第5章「カメラ設定の構成」](#)を参照）。Webクライアントを構成ツールから開くには、Webクライアントを開くデバイスを選択してから、**Operate [操作]**列のMicrosoft Internet Explorerアイコンをクリックします。Webクライアントがブラウザで開きます。

# 3

## ログインとライブビデオの表示

この章は以下の項で構成されています。

- [Webクライアントからのカメラへのログイン、19ページ](#)
- [ライブビューインターフェースの使用、21ページ](#)

---

### Webクライアントからのカメラへのログイン

---

Webクライアントを使用すると、ライブビデオを監視し、録画された動画を再生し、カメラ設定を構成することができます。

#### 作業を開始する前に

Webクライアントにログインする前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- カメラがネットワークに正しく接続されている。
- カメラのIPアドレスとPCのIPアドレスが同じネットワークセグメントに属する。ルーターがある場合は、対応するゲートウェイとサブネットマスクが設定されている。
- ネットワーク接続が確立されている。これを確認するには、カメラのIPアドレスにpingを実行します。（「ping [IPアドレス]」と入力します）。

#### カメラへのログイン

1. **Internet Explorer**を開き、カメラのIPアドレスをアドレスバーに入力してから**Enter**キーを押します。たとえば、カメラのIPアドレスが**192.168.1.108**である場合は、**http://192.168.1.108**と入力します。
2. ログイン画面に管理ユーザーの名前とパスワードを入力し、**Login [ログイン]**をクリックします。デフォルトのユーザー名は**admin**（大文字と小文字の区別あり）、パスワードは**1234**です。

図3-1 ログイン画面



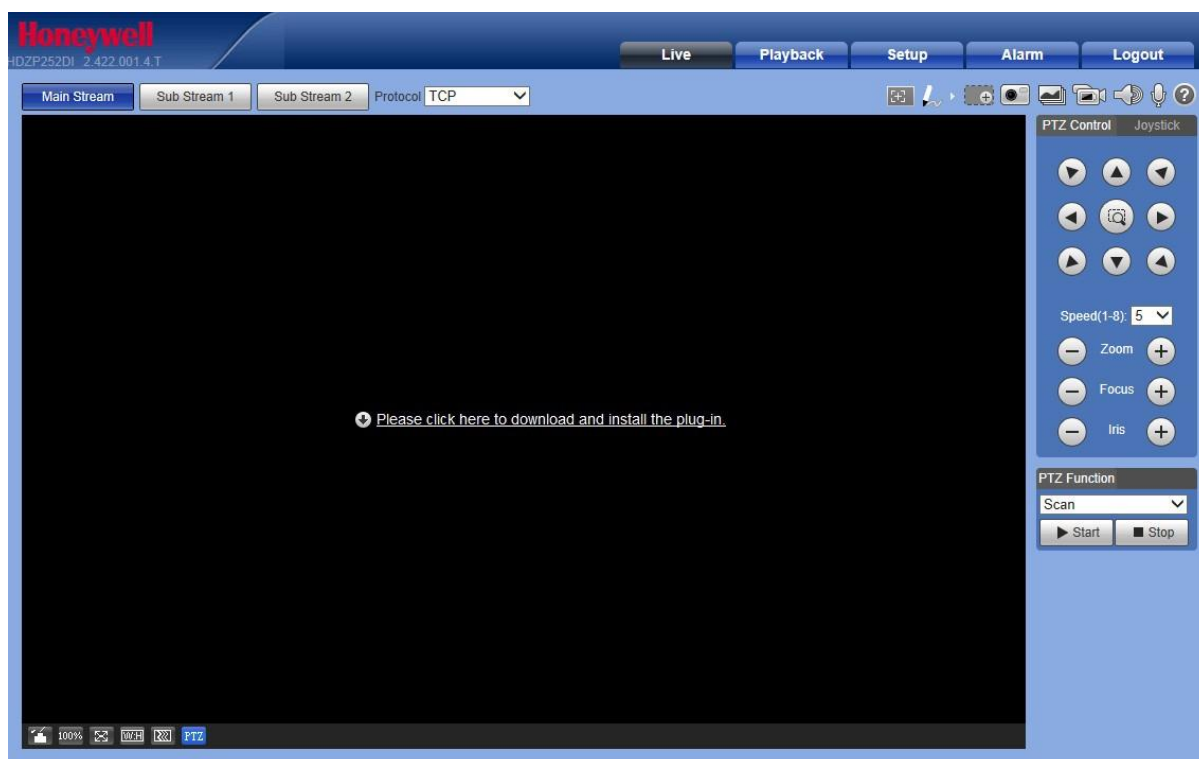
## ブラウザプラグインのインストール

初めてログインする場合は、ブラウザプラグインのダウンロードとインストールを求められます（図3-2を参照）。画面に表示される指示に従い、プラグインをインストールします。インストールが完了すると、Webクライアントは自動的に更新され、ライブビューインターフェースが開きます（図3-5）。

初めてログインすると、次のメッセージが表示されます。

Please click here to download and install the plug-in. [こちらをクリックしてプラグインをダウンロードし、インストールしてください。]

図3-2 初回ログインのメッセージ



1. Please click here to download and install the plug-in [こちらをクリックしてプラグインをダウンロードし、インストールしてください]をクリックします。File Download-Security Warning [ファイルダウンロードセキュリティ警告]ポップアップメッセージが表示され（図3-3）、ファイルを実行するか保存するかを聞かれます。

図3-3 プラグインのファイルダウンロードセキュリティ警告メッセージ



2. Run [実行]をクリックします。Internet Explorer - Security Warning [Internet Explorer - セキュリティ警告]が表示されます。

図3-4 Internet Explorer - セキュリティ警告



3. Run [実行]をクリックしてインストールを始めます。Ready to Install [インストールの準備が完了]ウィンドウが表示されます。
4. Install [インストール]をクリックします。進行状況ウィンドウが表示されます。

プラグインのインストールが完了すると、インストールのページは閉じます。Webクライアントは自動的に更新され、ライブビューインターフェース (図3-5) が開きます。

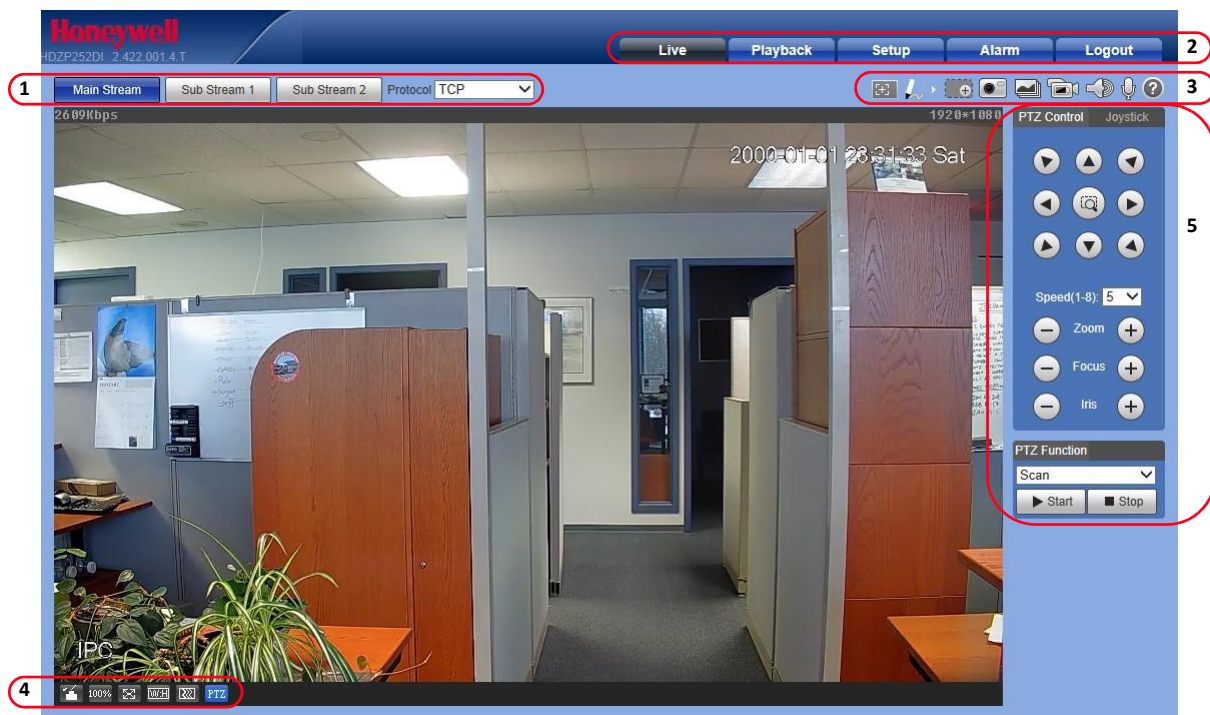
---

## ライブビューインターフェースの使用

---

ライブビューインターフェースには4つのコントロール領域があります (図3-5を参照)。

図3-5 ライブビューインターフェース



- 1 動画エンコーダのコントロール (22ページの「動画エンコーダのコントロール」を参照)
- 2 システムメニュー (23ページの「システムメニュー」を参照)
- 3 ライブビューコントロールツールバー (23ページの「ライブビューコントロール」を参照)
- 4 ライブビューウィンドウ設定ツールバー (24ページの「ライブビューウィンドウの構成」を参照)
- 5 PTZコントロールパネル (24ページの「PTZコントロール」を参照)

## 動画エンコーダのコントロール

動画エンコーダのコントロールを使用し、ストリームを選択してストリームプロトコルを設定できます。

図3-6 動画エンコーダのコントロール



表3-1 動画エンコーダのコントロール

設定	説明
Main Stream [メインストリーム]	通常のネットワーク帯域幅環境では、メインストリームはオーディオ/動画ファイルを記録し、ネットワークモニタをサポートすることができます。カメラがサポートしている場合は、メインストリーム解像度を設定します。
Sub Stream 1/Sub Stream 2 [サブストリーム1/サブストリーム2]	ネットワーク帯域幅が十分でない場合は、解像度の低いサブストリームを使用してネットワークモニタをサポートすることができます。
Protocol [プロトコル]	ストリームメディアプロトコルをドロップダウンリストから選択します。次の3つの選択肢があります。TCP、UDP、Multicast[マルチキャスト]

## システムメニュー

図3-7 システムメニュー



Webクライアントを使用してカメラにログインすると、デフォルトでライブビューインターフェースが開きます。Playback [再生]、Setup [設定]、およびAlarm [アラーム]インターフェースにアクセスするか、またはログアウトするには、システムメニューの対応するタブを選択します。











## ライブビューコントロール

ライブビューコントロールツールバーからは、画像を拡大したり、スナップショットを撮ったり、手で動画を録画することができます。これらのコントロールについて、表3-2で詳しく説明します。

図3-8 ライブビューウィンドウのコントロール



表3-2 ライブビューウィンドウのコントロール

アイコン	コントロール	説明
	領域フォーカス	領域フォーカスをクリックしてから、画像上でマウスをクリックしてドラッグし、フォーカスする領域の上にボックスを描画することにより、シーンの特定の領域にフォーカスできます。カメラは、選択領域が鮮明になるようにフォーカスを調整します。
	画像に描画	ライブビュー画像に描画するには、鉛筆アイコンを使用します。このオプションを使用して重要項目を円で囲み、録画した動画を再生したときに重要項目を簡単に確認できるようにします。鉛筆の横の矢印をクリックし、赤鉛筆、青鉛筆、緑鉛筆のいずれかを選択します。鉛筆アイコンをダブルクリックすると、画像はクリアされます。
	デジタルズーム	ライブビデオを見ながら、マウスの左ボタンで  をクリックして長押しすると、特定の領域が拡大表示されます。前の倍率に戻るには、マウスを右クリックします。
	スナップショット	クリックするとスナップショットが撮られ、デフォルトの場所 (\picture download) にJPEGとして保存されます。保存パスを変更するには、51ページの「パス」を参照してください。Setup [設定] > Camera [カメラ] > Video [ビデオ] > Path [パス]に移ります。
	トリプルスナ	クリックすると1fpsで3つのスナップショットを撮ります。画像はすべて、Setup [設定] > Camera [カメラ] > Video [ビデオ] > Path [パス] で設定したパスに保存されます。
	録画	クリックすると録画が開始されます。動画はすべて、Setup [設定] > Camera [カメラ] > Video [動画] > Path [パス]に保存されます。
	オーディオ出力	シーンの監視時にクリックして、オーディオの有効と無効を切り替えます。
	双方向対話	クリックして、カメラの範囲内にいる人との双方向対話の有効と無効を切り替えます。
	ヘルプ	クリックするとヘルプが開きます。

## ライブビューウィンドウの構成

ライブビューウィンドウの構成ツールバーからは画面の輝度、コントラスト、色相、または彩度を調整し、画面サイズや縦横比を変更し、画像のなめらかさを調整できます。これらのコントロールについては、[表3-3](#)で詳しく説明します。

図3-9 ライブビューウィンドウ構成ツールバー



表3-3 ライブビューウィンドウ構成ツール

	画像コントロール	<p>クリックするとImage Adjustment [画像調整]パネルが開きます。スライダをドラッグして輝度、コントラスト、色相、彩度を設定します。デフォルト設定に戻るにはリセットをクリックします。または、Setup [設定] &gt; Camera [カメラ] &gt; Conditions [条件]に移動し、これらの設定を調整します。</p> <p><b>注</b> 画像調整は、Webクライアントインターフェースで表示されている動画にのみ適用されます。</p>
	元のサイズ	<p>動画表示を元のサイズに戻します（サイズはビットストリームの解像度設定によって決まります）。</p>
	全画面	<p>クリックすると全画面表示モードになります。全画面表示を終了するにはEscキーを押すかマウスをダブルクリックします。</p>
	幅と高さの比率	<p>クリックすると動画表示が元の縦横比（またはウィンドウに適した縦横比）に戻ります。</p>
	なめらかさの調整	<p>クリックすると、ネットワーク接続に基づいてなめらかさを選択できます。デフォルト設定はNormal [標準]です。ネットワーク接続が遅い場合はFluent [なめらか]を選択すると、動画をスムーズに見せることができます（ただし画質は低下する可能性があります）。</p>
	PTZコントロール	<p>クリックするとPTZ Controls [PTZコントロール]パネルが開きます。これらのコントロールを使用し、PTZカメラの動きを制御します。詳細情報は、<a href="#">24ページの「PTZコントロール」</a>を参照します。</p>

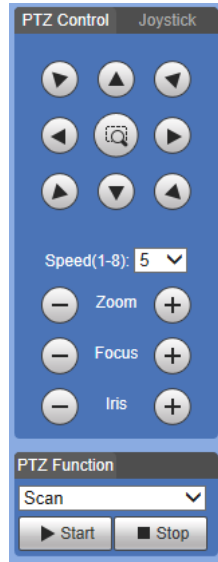
## PTZコントロール

ライブビューウィンドウのPTZコントロールパネルでは、PTZカメラを任意の方向に動かしたり、オブジェクトにズームインしたり、プリセット位置またはツアーを呼び出してカメラを動かしたり、シーンを自動スキャンするようにPTZを設定したりすることができます。これらのコントロールについては、[表3-4](#)で詳しく説明します。



図3-10 ライブビューPTZコントロールパネル

スキャン機能の  
PTZコントロー  
ル



プリセット機能のジ  
ョイスティックコン  
トロール



表3-4 ライブビューPTZコントロール

	<p><b>PTZ方向コントロール</b></p>	<p>矢印をクリックし、矢印の方向に動画画像を移動します。</p>
	<p><b>PTZジョイスティックコントロール</b></p>	<p>ジョイスティックコントロールの中央のアイコンをクリックし、動画画像の移動方向にドラッグします。</p>
	<p><b>位置ボタン</b></p>	<p>位置ボタンを使用し、動画画像を移動します。位置ボタンをクリックしてから動画画像をクリックし、クリックした画像の位置が中央になるようにPTZカメラを移動します。</p>
	<p><b>速度設定</b></p>	<p>Speed [速度] ドロップダウンリストを使用し、PTZ移動速度を選択します。</p>
	<p><b>Zoom [ズーム]/Focus [フォーカス]/Iris [絞り]</b></p>	<p>Zoom [ズーム]、Focus [フォーカス]、Iris [絞り]の各コントロールを使用し、PTZカメラ画像のズーム、フォーカス、絞りを調整します。 Zoom [ズーム]の[+]と[-]ボタンをクリックし、画像のズームインとズームアウトを行います。Focus [フォーカス]の[+]と[-]ボタンをクリックし、画像の焦点位置を近づけたり遠ざけたりします。Iris [絞り]の[+]と[-]ボタンをクリックして絞りを開閉し、画像の明るさを調節します。</p>
	<p><b>PTZ Function [PTZ機能] ドロップダウンリスト</b></p>	<p>PTZ Function [PTZ機能] ドロップダウンリストを使用し、実行するPTZ機能のタイプを選択します。Scan [スキャン]、Preset [プリセット]、Tour [ツアー]、Pattern [パターン]、Assistant [アシスタント]、Pan [パン]、Go To [移動]のうちいずれかを選択できます。各機能の実行方法について詳しくは、次のセクションを参照してください。</p>

## PTZ機能：Scan [スキャン]

PTZのスキャンを使用するには、Setup [設定] PTZ Function [機能] Scan [スキャン]画面でスキャンの設定をプログラムする必要があります。Start [スタート]をクリックし、プログラムしたスキャンにPTZを繰り返し移動します。スキャン機能を停止するには、Stop [停止]をクリックします。

## PTZ機能：Preset [プリセット]

PTZのプリセットを使用するには、Setup [設定] PTZ Function [機能] Preset [プリセット]画面でプリセットを最低1つプログラムする必要があります。表示されるフィールドに、移動するプリセットの番号を入力してGo To [移動]をクリックし、PTZカメラをその位置に移動します。

## PTZ機能：Tour [ツアー]

PTZのツアーを使用するには、Setup [設定] PTZ Function [機能] Tour [ツアー]画面でツアーを最低1つプログラムする必要があります。表示されるフィールドに、実行するツアーの番号を入力してStart [スタート]をクリックし、カメラをそのツアー位置に移動します。ツアーを停止するには、Stop [停止]をクリックします。

## PTZ機能：Pattern [パターン]

PTZのパターンを使用するには、Setup [設定] PTZ Function [機能] Pattern [パターン]画面でパターンを最低1つプログラムする必要があります。表示されるフィールドに、実行するパターンの番号を入力してStart [スタート]をクリックし、カメラをそのパターン位置に移動します。パターンを停止するには、Stop [停止]をクリックします。

## PTZ機能：Pan [パン]

PTZのパン機能を使用するときは、Setup [設定] PTZ Function [機能] Scan [スキャン]画面でパンの速度を調整できます。Start [スタート]をクリックし、PTZを現在の位置から継続的にパンします。パン移動を停止するには、Stop [停止]をクリックします。

## PTZ機能：Go To [移動]

移動先機能を使用するには、表示されるフィールドに、水平角度、垂直角度、ズーム値を入力し、Go To [移動]をクリックします。カメラは、指定した位置とズーム値に移動します。

# 4

## 動画の再生

この章は以下の項で構成されています。

- [はじめに、27ページ](#)
- [録画した動画の再生、28ページ](#)
- [Playback Assistant \[再生アシスタント\]の使用、31ページ](#)
- [ビデオクリップの作成、32ページ](#)
- [スナップショットの表示、32ページ](#)

---

### はじめに

---

この章では、1080p PTZ IP カメラでWebクライアントを使用してカメラに記録された動画と保存されたスナップショットを再生する方法、Playback Assistant [再生アシスタント]を使用して録画した動画を再生しながらスナップショットを撮る方法、およびカスタムビデオクリップを作成する方法について説明します。

---

**注** 録画したビデオや保存したスナップショットを再生するには、まず**Setup [設定]**メニューでストレージ設定を行う必要があります。詳細については、[64ページの「ストレージ設定の構成」](#)を参照してください。

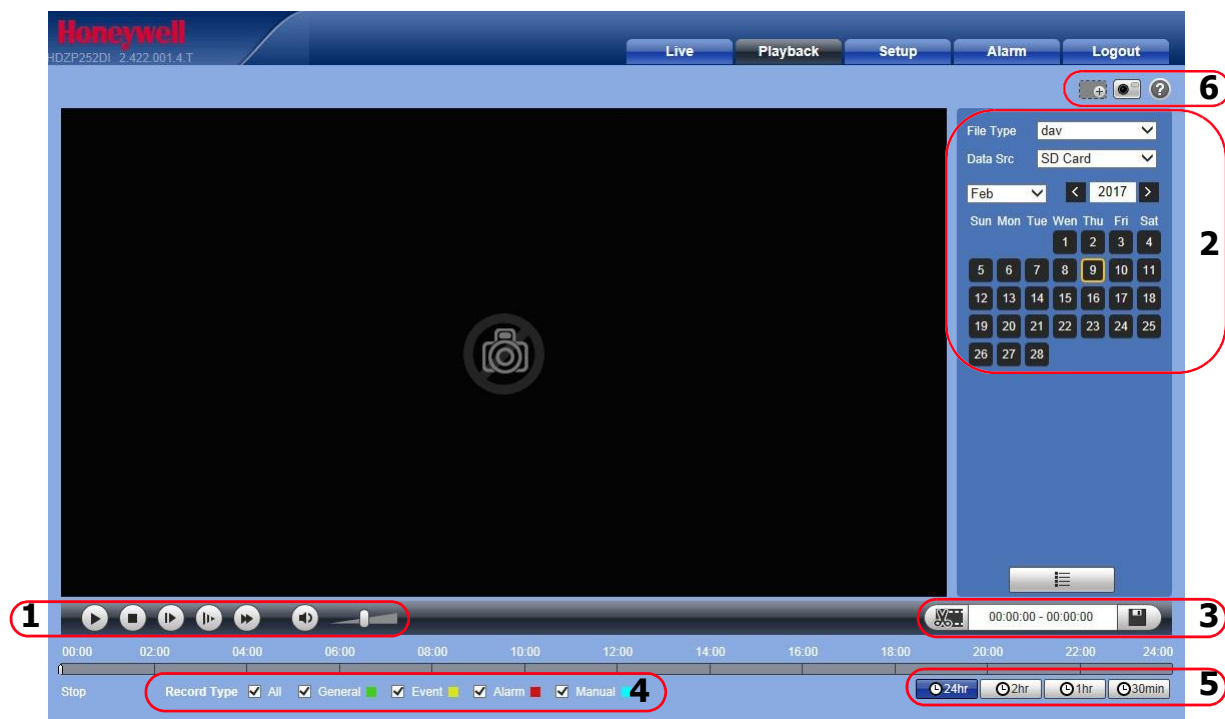
---

Playback [再生]タブをクリックして再生インターフェースを表示します。

### 再生インターフェースの概要

再生インターフェースには、再生のためのコントロールと再生オプションの6つの領域があります ([図4-1](#)参照)。

図4-1 再生インターフェース



- 1 再生コントロール（28ページの「再生コントロール」を参照）
- 2 カレンダー領域（29ページの「カレンダーからの録画ファイルの再生」を参照）
- 3 クリップ選択（32ページの「ビデオクリップの作成」を参照）
- 4 録画タイプ（31ページの「録画タイプによるファイルの検索」を参照）
- 5 タイムライン構成（31ページの「タイムラインの構成」を参照）
- 6 再生アシスタント（31ページの「Playback Assistant [再生アシスタント]の使用」を参照）







## 録画した動画の再生

### 再生コントロール

図4-2 再生コントロール



表4-1 再生コントロール

コントロール	説明
	クリックして動画を再生します。再生モードのとき、このボタンは一時停止ボタンに変わります。
	クリックすると動画の再生が停止します。
	クリックすると次のフレームに移ります。
	<b>注</b> この機能を使用するには、動画の再生を一時停止する必要があります。
	低速再生
	高速再生

## カレンダーからの録画ファイルの再生

再生カレンダーの青い日付は動画が録画された日を示します。

図4-3 再生カレンダー



File Type [ファイルタイプ]には、動画の再生ではdav、スナップショットではjpgを選択します。デフォルトのData Src [データソース]はSD Card [SDカード]です。

### 録画ファイルの再生

1. 再生インターフェースのカレンダー領域で、オプションを使用して録画を検索します。
  - a. File Type [ファイルタイプ]ボックスでdavを選択します。
  - b. Data Src [データソース]ボックスでSD Card [SDカード]を選択します。

- c. 検索する月と年を選択します。動画が録画された日付は青で表示されます。
- d. 動画を表示する日付（青）をクリックします。タイムライン（[図4-4](#)）には、その日の録画が色分けされたバーとして表示されます。
  - 緑は通常の録画を示します。
  - 黄色はモーション検出録画を示します。
  - 赤は警告が出された録画を示します。
  - 青は手動での録画を示します。

**図4-4** 録画タイムライン



2. タイムラインをクリックして再生時間を選択します。
3. をクリックして記録されたファイルのリストを開きます。
4. ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始し、ファイルサイズ、開始時刻、終了時刻を確認します。[再生コントロール \(28ページ\)](#) を使って動画をレビューします。

**図4-5** 再生ファイルの詳細

00 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59

Download Format  dav  mp4

	Start Time	File Type	
1	11:12:28		
2	11:13:48		

Begin Time:  
End Time:  
File Size:

録画された動画を検索する開始時刻と終了時刻を入力します。

録画タイプを選択します。MP4は現在サポートされていないため、davを選択してください。

davファイルをローカルコンピュータにダウンロードするには、ダウンロードボタンをクリックします。

カレンダーインターフェースに戻る際にクリックします。

**注** ファイルは再生インターフェースからローカルコンピュータにダウンロードできます。

**注** 録画タイプにはdavを選択してください。MP4は現在サポートされていません。

## 録画タイプによるファイルの検索

録画ファイルタイプを選択すると、タイムラインとファイルリストに、特定の録画タイプでフィルタリングされた録画ファイルのみを表示することができます。録画タイプを選択してPlayback [再生]ウィンドウに表示することもできます。フィルタはPlayback [再生]ウィンドウの一番下にあります（[図4-1](#)を参照）。

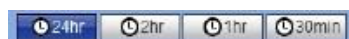
図4-6 Playback [再生]での録画タイプフィルタ



## タイムラインの構成

再生時のタイムラインを設定して、過去24時間、2時間、1時間、または30分間の録画動画を表示することができます。クリックして選択します。

図4-7 再生タイムライン構成





---

## Playback Assistant [再生アシスタント]の使用

---


動画のPlayback Assistant [再生アシスタント]ボタンを使用すると、動画を拡大/縮小したり、スナップショットを撮ったりすることができます。

## ズームインとズームアウト

ズームインするには、再生アシスタント領域（[図4-1](#)参照）でZoom In [ズームイン]ボタン  をクリックし、マウスのスクロールホイールを使用して動画の部分を拡大します。

動画をズームなしの元の写真に戻すには、マウスを右クリックします。

## スナップショットの撮り方

手動でスナップショットを撮るには、動画の再生中に  をクリックします。スナップショットは、ローカルPC上のファイルパスに保存されます。ファイルパスを設定するには、[65ページの「パス」](#)を参照してください。

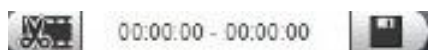
---

## ビデオクリップの作成

---

録画された動画の一部は、再生中にクリップ機能を使用して保存することができます。




図4-8 クリップ機能のコントロール



---

**注** 録画された動画の再生は、クリッピング中には自動的に一時停止されます。

---

1. クリップの作成元となる録画を検索します（28ページの「録画した動画の再生」を参照）。
2. タイムラインで、録画でクリップを開始する時間をクリックしてから  をクリックします。これによりクリップの開始時間を指定します。
3. 次に、クリップを終了する時間をクリックし、 をクリックします。これによりクリップの終了時間を指定します。
4.  をクリックしてローカルPCにクリップファイルを保存します。保存パスを設定するには、65ページの「パス」を参照してください。

---

## スナップショットの表示

---

1. 再生インターフェースのカレンダー領域で、以下を行います。
  - a. **File Type** [ファイルタイプ]ボックスでjpgを選択します。
  - b. **Data Src** [データソース]ボックスでSD Card [SDカード]を選択します。
  - c. 検索する月と年を選択します。スナップショットがある日は青色で表示されます。
  - d. スナップショットを表示する日（青）をクリックします。



図4-9 スナップショット再生コントロールインターフェース




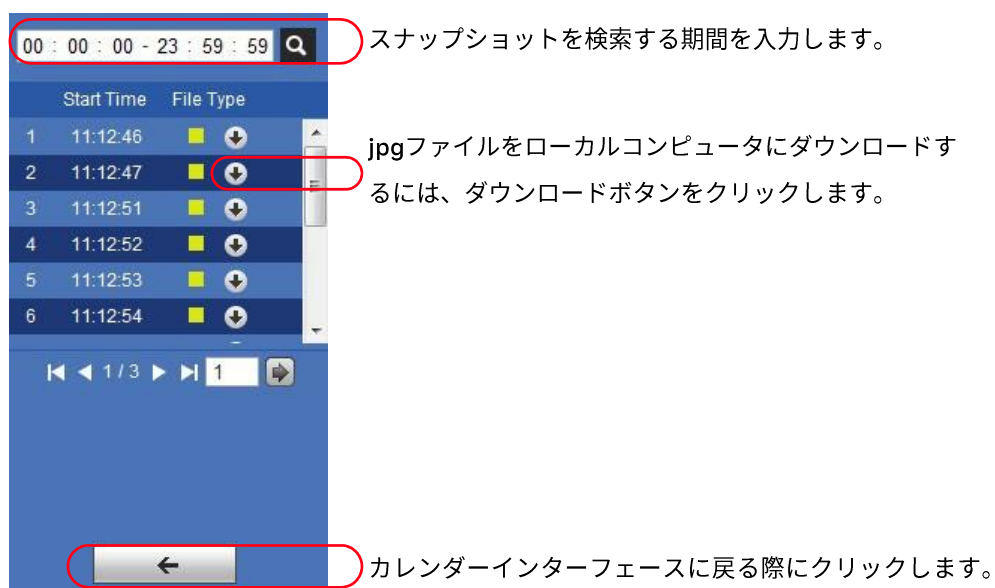
2. Snapshot Type [スナップショットのタイプ]領域では、検索する特定のスナップショットの種類 (General [一般]、Motion [モーション]、またはAlarm [アラーム]) を選択して検索結果を絞り込むことができます。
3. カレンダーの下にあるファイルリストボタン  をクリックすると、選ばれた日のスナップショットの一覧が表示されます。

図4-10 スナップショットの一覧



4. 特定の時間範囲を入力して検索結果をさらに絞り込むことができます。

5. スナップショットを表示するには、ファイル名（開始時刻）をダブルクリックします。ローカルPCにスナップショットをダウンロードするには、ファイル名の横にあるダウンロードボタンをクリックします。保存パス/場所を設定するには、[65ページの「パス」](#)を参照してください。

# 5

## カメラ設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [カメラ設定の構成、35ページ](#)
- [ネットワーク設定の構成、52ページ](#)
- [ストレージ設定の構成、64ページ](#)
- [システム設定の構成、68ページ](#)
- [システム情報の表示、75ページ](#)

---

## カメラ設定の構成

---

### 条件

Conditions [条件]タブにはカメラの設定を表示できます。構成の変更が有効になるのは、構成の変更を保存した直後です。

---

**注** Conditions [条件]タブで使用できる設定は、Profile Management [プロファイル管理]設定で行った選択によって異なる場合があります（詳細については、[47ページの「プロファイル管理」](#)を参照）。

---

## 写真の設定


図5-1 カメラ設定 - 写真ウィンドウ



表5-1 カメラの写真の構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。設定の変更は、選択したプロファイルにのみ影響します。
Style [スタイル]	Soft [ソフト]、Standard [標準]、Vivid [鮮明]のうちいずれかの照明と画像のスタイルを選択します。
Brightness [輝度]	動画の輝度を調整します。値を大きくすると、動画の輝度が増します。この値の調整は、動画の輝度に影響します。0~100の間で選択します。推奨範囲は40~60です。デフォルト値は50です。 <b>注</b> この値を高くしすぎると、動画がかすんだものになる場合があります。
Contrast [コントラスト]	動画のコントラストを調整します。値を大きくすると、コントラストが増加し明暗差が強調されます。0~100の間で選択します。推奨範囲は40~60です。デフォルト値は50です。 <b>注</b> この値を低くしすぎると、動画はかすんだものになる場合があります。この値が高すぎると、動画の暗い部分の細部が見えなくなり、明るい部分が露出オーバーになる可能性があります。
Saturation [彩度]	動画の彩度を調整します。値を大きくすると、彩度が増加して色が濃くなります。この値は、動画の一般的な輝度には影響しません。0~100の間で選択します。推奨範囲は40~60です。デフォルト値は50です。 <b>注</b> ホワイトバランスをオフにすると、グレーに歪みが出る場合があります。
Chroma CNT [クロマCNT]	動画のクロマカラー値を調整します。値を選択すると、カラーのクロマ/色相が変化します。この値は、動画の一般的な輝度には影響しません。0~100の間で選択します。推奨範囲は40~60です。デフォルト値は50です。

表5-1 カメラの写真の構成 (続き)

パラメータ	機能
Sharpness [鮮明度]	動画の鮮明度を調整します。値を大きくすると、動画の鮮明度が増します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。 <b>注</b> 高い値を選択すると、画像にノイズが入ることがあります。
Sharpness CNT [鮮明 度CNT]	動画の鮮明度を調整します。値を大きくすると、動画の鮮明度が増します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。
Gamma [ガンマ]	ダイナミックレンジを調整します。値を大きくすると、画像の輝度が非線形的に増加します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。
Flip [フリ ップ]	0°：動画はフリップしません。これがデフォルト設定です。 180°：動画を180°フリップします。
Full-screen Test [全画面 テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフ ォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## 露出の設定

図5-2 カメラ設定 - 露出ウィンドウ



The screenshot shows the Honeywell camera management software interface. The top navigation bar includes 'Live', 'Playback', 'Setup', 'Alarm', and 'Logout'. The left sidebar lists various camera settings categories: Camera, Conditions, Profile Management, Video, Audio, Network, PTZ, Event, Storage, System, and Information. The main area is divided into a video feed window and a settings panel. The video feed shows an office interior. The settings panel is titled 'Profile Day' and contains the following settings:


- Anti-flicker: Outdoor
- Exposure Mode: Auto
- Exposure Comp: 50
- AE Recovery: 15Minute
- 2D NR: ON
- 3D NR: ON
- Defog: Grade

At the bottom of the interface, there is a control pad with buttons for Zoom (+/-), Focus (+/-), and Iris (+/-), along with a Speed dropdown menu set to 5.

表5-2 カメラの露出の構成

パラメータ	機能	
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。	
Outdoor [屋外]	Outdoor [屋外]: 屋外モードでは、任意の露出モードを選択してフリッカーを避けることができます。	
Anti-flicker [アンチフリッカー]	50Hz: 電流が50 Hzのとき (電力会社の電気周波数)、システムは環境の明るさに応じて自動的に露出を調整して、動画の縞模様を防止します。 60Hz: 電源周波数が60 Hzの場合 (電力会社の電気周波数)、システムは環境の明るさに応じて自動的に露出を調整して、動画の縞模様を防止します。	
Exposure [露出]	Auto [オート]	画像は、シーンの照明の変化に合わせて自動的に補正されます。
	Gain Priority [ゲイン優先]	画像は、シーンの照明の変化に合わせて自動的に補正されます。ゲインを調整すると、シーンの暗い領域は改善されますが、ゲインを上げるに従ってノイズは増加します。 同じ環境では、Gain Priority [ゲイン優先]モードを有効にした場合のノイズは、Auto [オート]モードを有効にした場合のノイズよりも減ります。
	Aperture Priority [絞り優先]	画像は、シーンの照明の変化に合わせて自動的に補正されます。絞りの範囲 (0~100) を調整すると、絞りを通過する光の範囲を調整できますが、絞りの範囲を下げると暗くなります。
	Shutter Priority [シャッター優先]	動きが激しい画像シーンを鮮明に捕らえる必要がある場合は、この露出オプションを選択します。Shutter [シャッター]の値を変更し、必要な光源レベルにシーンの露出を調整します。 同じ環境では、Shutter Priority [シャッター優先]モードを有効にした場合の歪み (モーションブラー) は、Auto [オート]モードを有効にした場合の歪みよりも小さくなります。
	Manual [手動]	シャッタースピードとゲインの設定を手動で調整し、シーンの露出を設定します。
Exposure Comp [露出補正]	Exposure Comp [露出補正]設定を使用し、自動露出設定を手動で補正します。値は、0~100の範囲です。デフォルトは50です。この設定は、Manual [手動]モードを選択しているとき、使用できません。	
AE Recovery [AE回復]	自動露出回復タイムラインをこのドロップダウンリストから選択します。選択肢は、OFF [オフ]、5Minute [5分]、15Minute [15分]、1Hour [1時間]、2Hour [2時間]です。15Minute [15分]がデフォルト設定です。	
2D Noise Reduction [2Dノイズ低減]	2D Noise Reduction [2Dノイズ低減]はデフォルトで有効になっています。	
2D NR Grade [2D NRグレード]	値は、0~100の範囲です。2DNRが有効なときのデフォルト値は50です。	
3D Noise Reduction [3Dノイズ低減]	3D Noise Reduction [3Dノイズ低減]はデフォルトで有効になっています。	
3D NR Grade [3D NRグレード]	値は、0~100の範囲です。3DNRが有効なときのデフォルト値は50です。	

表5-2 カメラの露出の構成 (続き)

パラメータ	機能
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## バックライトの設定


図5-3 カメラ設定 - バックライトウィンドウ



表5-3 カメラのバックライトの構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。

表5-3 カメラのバックライトの構成 (続き)

パラメータ	機能
	<p><b>OFF [オフ]</b> BLCがオフです。BLCはデフォルトでは無効です。</p> <p><b>BLC (Default or Customized) [BLC (デフォルトまたはカスタマイズ) ]</b> カメラは自動的にシーン条件に合うように露出を調整し、動画の最も暗い部分が見えるようにします。デフォルトでは、BLCが景色全体に適用されます。カスタマイズオプションでは、画像の指定領域にBLCを適用することができます。</p>
<b>BLC Mode (Backlight Compensation) [BLCモード (バックライト補正) ]</b>	<p><b>WDR</b> WDRは、最も暗いエリアと最も明るいエリアの両方を同時に明瞭に見ることができるように、最も明るいエリアの輝度を下げ、最も暗いエリアの輝度を高めることによって、シーン内の明るさと暗さを調整します。値は、1~100の範囲です。</p> <p><b>注</b> カメラを非WDRモードからWDRモードに切り替えると、動画に数秒間のギャップが発生することがあります。</p>
	<p><b>HLC</b> HLC機能を有効にすると、カメラは、選択されたHLCコントロールレベルに従って、動画の最も明るい部分の輝度を下げることができます。HLCは、ハローの量を減らし、動画画像全体の輝度を低下させることができます。値は、1~100の範囲です。HLCがオンのときのデフォルト値は50です。</p> <p>HLCを使用できるのは、<b>Anti-flicker [アンチフリッカー]</b>を<b>Outdoor [屋外]</b>、<b>Exposure [露出]</b>を<b>Auto [オート]</b>に設定したときに限られます。</p>
<b>Full-screen Test [全画面テスト]</b>	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
<b>Default [デフォルト]</b>	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
<b>Refresh [更新]</b>	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
<b>Save [保存]</b>	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。



## ホワイトバランスの設定


図5-4 カメラ設定 - ホワイトバランスウィンドウ



表5-4 カメラのホワイトバランスの構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。
White Balance [ホワイトバランス]	White Balance [ホワイトバランス]モードを設定します。これは、動画の一般的な色合いに影響します。この項目はデフォルトで有効になっています。 Auto [オート]、Indoor [屋内]、Outdoor [屋外]、ATW、Sodium Lamp [ナトリウムランプ]、Street Lamp [街灯]、Manual [手動]、Natural [ナチュラル]など、さまざまなシーンモードを選択し、カメラに最適な品質の動画を達成できます。 Auto [オート]: オートホワイトバランスがオンになっています。システムは自動的にカラー温度を調整して、動画カラーが正しいことを確認します。 Natural [ナチュラル]: ホワイトバランスのしきい値は、晴天シーンに最適な設定に設定されます。 Street Lamp [街灯]: ホワイトバランスのしきい値は、夜間シーンに最適な設定に設定されます。 Sodium Lamp [ナトリウムランプ]: ホワイトバランスのしきい値は、ナトリウムスタイルの黄色っぽい光に照らされた夜間シーンに最適な設定に設定されます。 Manual [手動]: 赤/青設定のゲインを手動で設定できます。値は0~100の範囲です。 ATW: オートトレーシングホワイトバランスでは自動的にカラー温度が調整されて、動画カラーが正しくなります。 Outdoor [屋外]: ホワイトバランスのしきい値は、屋外シーンに最適な設定に設定されます。 Indoor [屋内]: ホワイトバランスのしきい値は、屋内シーンに最適な設定に設定されます。

表5-4 カメラのホワイトバランスの構成 (続き)

パラメータ	機能
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## 昼夜設定

図5-5 カメラ設定 - 昼夜ウィンドウ

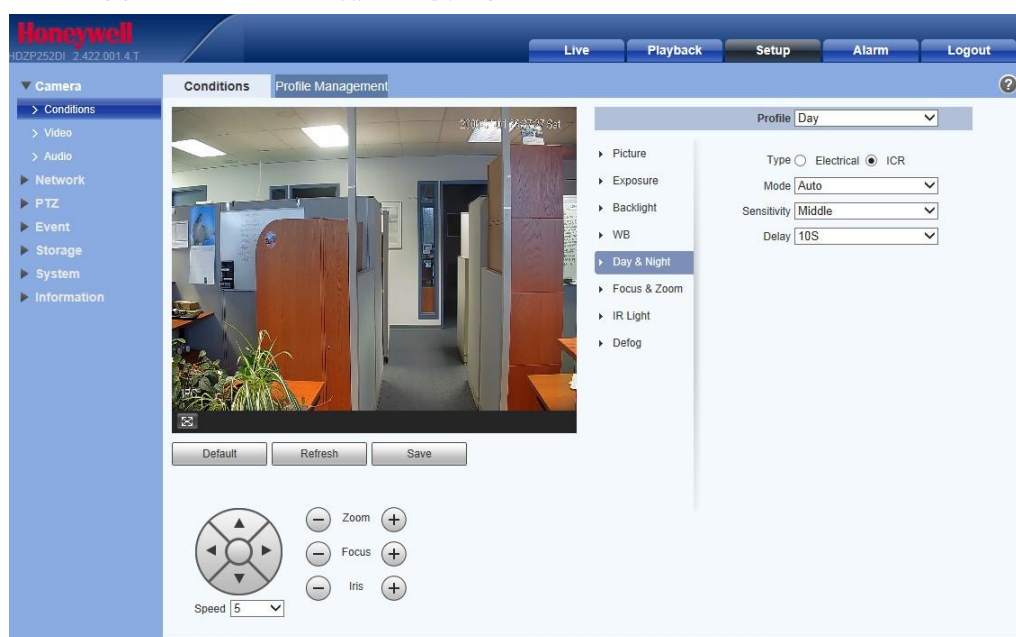



表5-5 カメラの昼夜の構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。
Day & Night [昼夜]	<p>カメラのカラーモードと白黒モードの切り替えを設定します。構成プロファイルを Normal [標準]またはNight [夜間]に設定したときのデフォルトはAuto [オート]です。プロファイルをDay [昼間]に設定したときのデフォルトはColor [カラー]です。構成プロファイルの詳細については、47ページの「プロファイル管理」を参照してください。</p> <p>Color [カラー]: 動画をカラーで出力します。</p> <p>Auto [オート]: カメラは、シーンが一般的に明るい場合やIRイルミネーションが必要な場合など、シーン条件に応じてColor [カラー]からBlack &amp; White [白黒]に切り替わります。</p> <p>Black &amp; White [白黒]: 動画を白黒で出力します。</p>

表5-5 カメラの昼夜の構成 (続き)


パラメータ	機能
Type [タイプ]	昼夜切り替えのType [タイプ]をElectrical [電気]とICR (IRカットフィルターの取り外し) から選択します。Electrical [電気]はソフトウェア的な昼夜切り替えオプションで、ICRはトウルーデイナイトIRカットフィルターによる昼夜切り替えです。
Sensitivity [感度]	カメラがColor [カラー]からBlack & White [白黒]モードに切り替わる感度しきい値を調整します。Low [低]、Middle [中] (デフォルト)、High [高]のいずれかに設定します。 <b>注</b> Day & Night [昼夜]をAuto [オート]に設定したときに限って使用可能です。
Delay [遅延]	Color [カラー]からBlack & White [白黒]モードへの切り替えの遅延値を調整します。値は2~10秒の範囲です。デフォルト値は6秒です。 <b>注</b> Day & Night [昼夜]をAuto [オート]に設定したときに限って使用可能です。
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## フォーカスおよびズーム

図5-6 電動フォーカスおよびズーム



表5-6 ズームおよびフォーカス


パラメータ	機能
デジタルズーム	ON [オン]またはOFF [オフ]を選択し、デジタルズーム機能の有効と無効を切り替えます。デジタルズームはデフォルトでオフです。デジタルズーム設定は、光学ズーム機能に影響しません。
Zoom Speed [ズーム速度]	この設定ではズーム操作の速度を設定します。速度は、0~100の範囲です。デフォルト設定は100です。
Mode [モード]	Mode [モード]ドロップダウンリストからフォーカスモードを選択します。選択肢は、Semi Auto [セミオート]、Auto [オート]、Manual [手動]です。Auto [オート]を選択すると、カメラは継続して自動的に画像をフォーカスします。Semi Auto [セミオート]を選択すると、パン、チルト、ズームの機能を実行するとき、カメラは画像を自動的にフォーカスします。Manual [手動]を選択した場合は、ユーザーが必要に応じてカメラを手動でフォーカスする必要があります。
Focus Limit [フォーカス限界]	フォーカスが動作する限界をFocus Limit [フォーカス限界]ドロップダウンリストから選択します。選択肢は、Auto [オート]、10cm、1m、2m、3m、5mです。Auto [オート]がデフォルト設定です。Auto [オート]を選択すると、カメラは限界なしでどのような範囲でもフォーカスします。10cmを選択すると、カメラは10cm以上離れたオブジェクトにのみフォーカスします。1mなどのフォーカス限界距離を選択すると、カメラが近くオブジェクトに自動的にフォーカスして背景の焦点がずれ、インシデントを見逃すことが防止されます。PTZ環境に適したフォーカス限界を選択してください。たとえば、PTZカメラ付近に枝がある場合は、フォーカス限界を設けてカメラが枝にフォーカスすることを防ぎます。
Sensitivity [感度]	オートフォーカスの感度設定をドロップダウンリストから選択します。選択肢は、High [高]、Low [低]、Default [デフォルト] (中) です。感度をHigh [高]に設定すると、カメラはシーンのわずかな変化で自動的にフォーカスします。感度をLow [低]に設定すると、カメラはシーンに大きな変化があったときに限って自動的にフォーカスします。Default [デフォルト]は、Low [低]とHigh [高]の間です。
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## 赤外線ライトの設定

図5-7 カメラ設定 - 赤外線ライトウィンドウ



表5-7 カメラの赤外線ライトの構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。
IR Mode [IRモード]	<p>赤外線ライトの強さをMode [モード]ドロップダウンメニューから設定します。</p> <p>ZoomPrio [ズーム優先] (デフォルト) : 赤外線ライトをオンにして、実際のシーンの明るさとズーム設定に従って自動的に調整します。IR Correction [IR補正]設定は、0~100に設定してください。50がデフォルト設定です。</p> <p>Manual [手動] : NearLight [近赤外線]とFarLight [遠赤外線]の赤外線ライトの強さを0~100で手動で調整します。</p> <p>Off [オフ] : 赤外線ライトを無効にします。</p>
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## 霧除去の設定

図5-8 カメラ設定 - 霧除去ウィンドウ

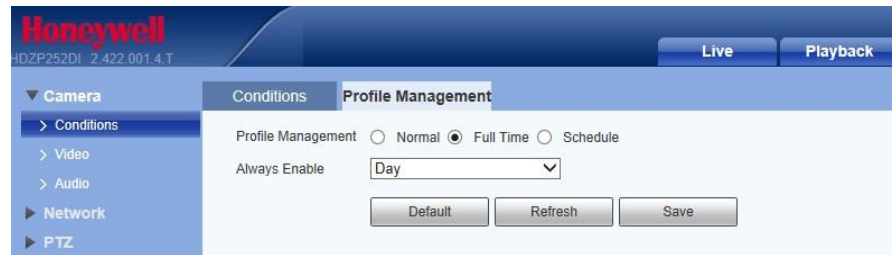


表5-8 カメラの霧除去の構成

パラメータ	機能
Profile [プロファイル]	Normal [標準]、Day [昼間]、Night [夜間]から選択します。
Defog Mode [霧除去]モード	霧除去モードをMode [モード]ドロップダウンメニューから設定します。  Auto [オート]：霧除去をオンにして、実際のシーンの霧の濃度に従って自動的に調整します。  Manual [手動]：霧除去の強さの設定を、Low [低]、Middle [中]、High [高]から手動で調整します。  Off [オフ] (デフォルト)：霧除去を無効にします。
Full-screen Test [全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default [デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Refresh [更新]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save [保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

## Profile Management [プロフィール管理]

図5-9 プロファイル管理タブ



プロフィール管理には以下の3つのモードがあります。Normal [標準]、Full Time [フルタイム]、およびSchedule [スケジュール]

- 動画を通常どおりに設定するにはNormal [標準]を選択します。
- Full Time [フルタイム]を選択した場合はDay [昼間]かNight [夜間] の選択が必要です。
- Schedule [スケジュール]を選択すると、拘束された時間間隔を設定することができます。

**注** 動画の設定を変更すると、その変更が動画に与える影響をすぐに見ることができます。ただし、これらの設定を保存して適用するにはSave [保存]をクリックする必要があります。

## 動画設定

### 動画ストリーム

図5-10 動画ストリーム構成ウィンドウ

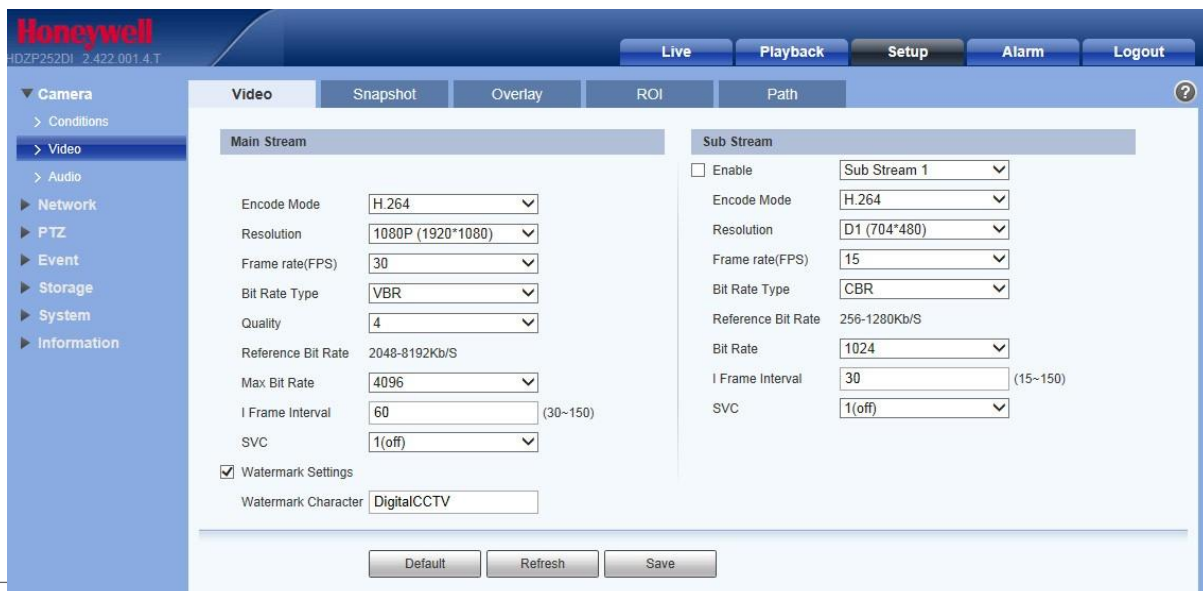


表5-9 動画ビットストリーム構成

パラメータ	機能	
Main Stream [メインストリーム]	Encode Mode [エンコードモード]	Encode Mode [エンコードモード]の3つのオプションから選択します。H.264：メインプロファイルエンコードモード H.265：高度プロファイルエンコードモード MJPEG：圧縮なしの高品質プロファイルエンコードモード
	Resolution [解像度]	解像度をドロップダウンリストから選択します。推奨されるビットストリーム値は、解像度ごとに異なります。
	Frame Rate (FPS) [フレームレート]	PAL：1～50 fps、NTSC：1～60 fps。
	Bit Rate Type [ビットレートタイプ]	VBR（可変ビットレート）かCBR（固定ビットレート）に設定します。 <b>注</b> 動画品質はVBRモードで選択できます。値は1～6の範囲です。
	Reference Bit Stream [基準ビットレート]	選択した解像度とフレーム率に従って、Reference Bit Rate [参照ビットレート]値を表示します。
	Bit Rate [ビットレート]	Bit Rate Type [ビットレートタイプ]がVBRの場合は、これが最高ビットレートとなります。CBRの場合、ビットレートは固定値となります。 推奨値については、Reference Bit Stream [参照ビットレート]を参照してください。
	I Frame Interval [Iフレームインターバル]	Iフレーム間のPフレームの数を設定します。値は30～150です。デフォルト値は50です。Encode Mode [エンコードモード]でMJPEGを選択した場合、この値は使用できません。 I Frame Interval [Iフレームインターバル]の推奨値は、フレーム率設定の2倍です。
SVC	スケーラブル動画エンコードの設定をドロップダウンリストから選択します。1（オフ）、2、または3を選択します。1（オフ）がデフォルト設定です。	
Watermark [ウォーターマーク]		この機能を使用すると、動画が改ざんされていないかどうかを検証できます。ウォーターマーク機能を有効にする場合に選択し、ウォーターマークのテキストを入力します。デフォルトのウォーターマークテキストはDigitalCCTVです。最大長は85桁です。数字、文字、アンダースコア（_）のみが使用できます。
	Enable [有効]	セカンダリストリームを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。 この機能はデフォルトで有効になっています。 動画設定を変更するストリームとして、Sub Stream 1 [サブストリーム1]またはSub Stream 2 [サブストリーム2]を選択します。
Sub Stream [サブストリーム]	Encode Mode [エンコードモード]	Encode Mode [エンコードモード]の3つのオプションから選択します。 H.264：メインプロファイルエンコードモード H.265：高度プロファイルエンコードモード MJPEG：圧縮なしの高品質プロファイルエンコードモード
	Resolution [解像度]	解像度をドロップダウンリストから選択します。推奨されるビットストリーム値は、解像度ごとに異なります。
	Frame Rate [フレームレート]	PAL：1～25 fps、NTSC：1～30 fps。



表5-9 動画ビットストリーム構成 (続き)

パラメータ	機能
Bit Rate Type[ビットレートタイプ]	VBR (可変ビットレート) がCBR (固定ビットレート) に設定します。 <b>注</b> 動画品質はVBRモードで選択できます。値は1~6の範囲です。
Sub Stream [サブストリーム]	Reference Bit Rate [基準ビットレート]
Bit Rate [ビットレート]	Bit Rate Type [ビットレートタイプ]がCBRでは、これが最高ビットレートとなります。ダイナミック動画では、現在の帯域幅に適応するためには、システムはより低いフレーム率またはより低い動画品質を必要とします。
I Frame Interval [Iフレームインターバル]	Iフレーム間のPフレームの数を設定します。値は、25~150の範囲です。デフォルト値は50です。 I Frame Interval [Iフレームインターバル]の推奨値は、フレーム率設定の2倍です。
SVC	スケーラブル動画エンコードの設定をドロップダウンリストから選択します。 1 (オフ)、2、または3を選択します。1 (オフ) がデフォルト設定です。

## Snapshot [スナップショット]

図5-11 スナップショット構成インターフェース



表5-10 スナップショットの構成

パラメータ	機能
Snapshot Type [スナップショットタイプ]	General [全般] (スケジュール) またはEvent [イベント] (ユーザーが有効化) を選択します。
Image Size [画像サイズ]	メインストリーム解像度と同じです。
Quality [画質]	6つのレベルの画質から選択します。
Interval [間隔]	スナップショットの頻度を1S [1秒]~7S [7秒]、または Customized [カスタマイズ]で設定します。Customized [カスタマイズ]を選択した場合は、目的の間隔の値を1~50000秒で入力できます。

**注** スナップショットの保存場所の設定については、51ページの「パス」を参照してください。スナップショットはJPEGとして保存されます。

## Video Overlay [動画重ね表示]

図5-12 動画重ね表示構成インターフェース



表5-11 動画重ね表示の構成

パラメータ	機能
Privacy Mask [プライバシーマスク]	プライバシーのために動画の一部の領域を隠します。最大24個のプライバシーマスクゾーンを設定できます。 設定するマスクをSNドロップダウンリストから選択します。PTZコントロールを使用して、マスクする領域にカメラを移動してからDraw [描画]をクリックし、画像内のカバーする領域の上でクリックとドラッグによってボックスを描画します。選択したプライバシーマスクを削除するには、Delete [削除]をクリックします。Clear [クリア]をクリックすると、すべてのプライバシーマスクが削除されます。選択したマスクにカメラ画像を移動するには、Go to [移動]をクリックします。
Time Title [タイムタイトル]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウにチャンネル情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、チャンネルのタイトルを目的の位置にドラッグします。
Channel Title [チャンネルタイトル]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウに時間情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、時間を目的の位置にドラッグします。
OSD info [OSD情報]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウにOSD情報およびテキストが重ねて表示されます。重ねて表示する情報のタイプを、表示されるオプション、Preset [プリセット]、Temperature [温度]、Coordinates [座標]、Zoom [ズーム]、Text Overlay [テキスト重ね表示]から有効にします。Text Overlay [テキスト重ね表示]を有効にした場合は、重ねて表示するテキストをInput Text [テキスト入力]フィールドに入力します。Right [右]またはLeft [左]の位置調整をText Align [テキスト位置調整]ドロップダウンメニューから選択します。
Font [フォント]	重ねて表示するテキストのフォントサイズを選択します。
Picture Overlay [ピクチャオーバーレイ]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウに画像が重ねて表示されます。Upload Picture [画像のアップロード]をクリックし、動画に重ねて表示する画像を選択します。

## ROI

図5-13 ROIインターフェース





表5-12 ROIの構成

パラメータ	機能
Enable/Disable [有効/無効]	Region of Interest (ROI) 機能を有効または無効にします。クリックとドラッグにより、動画画像の重要領域上にボックスを描画します。
Image Quality [画質]	ROIに必要な画質を選択します。

## パス

図5-14 ストレージパスインターフェース



ライブスナップショット（ライブインターフェースの ）およびライブ録画ビデオ（ライブインターフェースの ）に、再生スナップショット、再生ダウンロード、ビデオクリップの保存パスを設定します。スナップショットのデフォルトの保存場所はC:\Honeywell Video Systems\LiveSnapshotです。録画された動画のデフォルトの保存場所はC:\Honeywell Video Systems\LiveRecordです。必要に応じてBrowse [参照]をクリックし、新しい保存パスを選択します。

Save [保存]をクリックして、ストレージパスの変更を保存します。

## ネットワーク設定の構成

### TCP/IP

図5-15 TCP/IPインターフェース

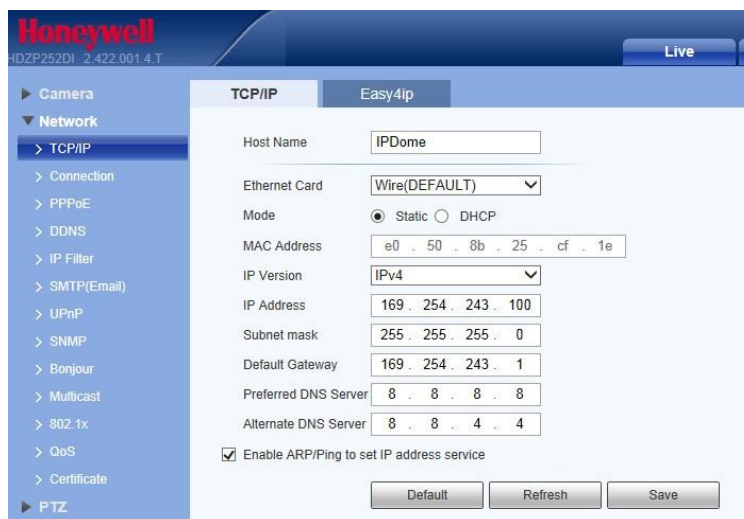


表5-13 TCI/IPの構成

パラメータ	機能
Host Name [ホスト名]	現在のホストカメラの名前を設定するように構成します最大32文字。
Ethernet Card [イーサネットカード]	イーサネットポートを選択します。デフォルトはWire [ワイヤ]です。 <b>注</b> これらの設定を変更した場合は、新しい設定を有効にするためにカメラを再起動する必要があります。
Mode [モード]	Static [静的]またはDHCPモードを選択します。 Static [静的]モードが選択された場合は、IP Address [IPアドレス]、Subnet mask [サブネットマスク]およびDefault Gateway [デフォルトゲートウェイ]を手動で割り当てる必要があります。 DHCPモードが選択された場合は、IP Address [IPアドレス]、Subnet mask [サブネットマスク]、およびDefault Gateway [デフォルトゲートウェイ]は自動的に割り当てられます。 <b>注</b> PPPoEが有効な場合、IP Address [IPアドレス]、Subnet mask [サブネットマスク]、Default Gateway [デフォルトゲートウェイ]、およびDHCPは読み取り専用です。
MAC Address [MACアドレス]	MACアドレスを表示します。
IP Version [IPバージョン]	使用しているIPバージョンを選択します。IPv4またはIPv6。

表5-13 TCI/IPの構成 (続き)

パラメータ	機能
IP Address [IPアドレス]	Static [静的]モードが選択されている場合は、IP Address [IPアドレス]、Subnet mask [サブネットマスク]、およびDefault Gateway [デフォルトゲートウェイ]の値を入力します。
優先DNSサーバー	優先されるDNSサーバーのIPアドレスを入力します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバーIPアドレスを入力します。

## IPアドレスサービスを設定するためのARP/Pingの有効化

カメラのMACアドレスが分かっている場合は、ARP/Pingコマンドを使用してカメラのIPアドレスを変更または設定します。

カメラを操作する前に、ネットワークカメラとPCが同じLANに接続されていることを確認してください。この項目はデフォルトで有効になっています。IPアドレスサービスを設定するためにARP/Pingを有効にするには下記を行います。

1. IPアドレスを取得します。ネットワークカメラとPCを同じLANに設置します。
2. ネットワークカメラのラベルから物理アドレス (MACアドレス) を取得します。
3. Run [実行]インターフェース (Start [開始]メニュー▶Run [実行]) を開いて、以下のコマンドを入力します。
  - a. `arp -s <IP Address><MAC>`
  - b. `ping -l 480 -t <IP Address>`

例：

  - a. `arp -s 192.168.0.125 11-40-8c-18-10-11`
  - b. `ping -l 480 -t 192.168.0.125`
4. カメラを再起動します。設定が成功した場合には、Reply from 192.168.0.125...といった情報がコマンド出力行に表示されます。
5. コマンドラインを閉じます。
6. ブラウザを開いてアドレスバーに`http://<IP address>`を入力してEnterキーを押します。

## P2P

P2Pは、簡単な接続方式であり、モバイルデバイスでHonView Touchアプリを使用してネットワークデバイスに簡易に接続できます。最初に、HonView Touchアプリをダウンロードして、アカウントを登録/作成する必要があります。アプリが設定されたら、デバイスの追加を選択し、モバイルデバイスのカメラを使用して、カメラのWebクライアントのP2P画面にQRコードを表示します (図5-16を参照)。デバイスの情報と接続は自動的にHonView Touchアプリにダウンロードされ、モバイルデバイスを使用してネットワークカメラに接続できます。

図5-16 P2P構成インターフェース



## 接続

図5-17 接続構成インターフェース

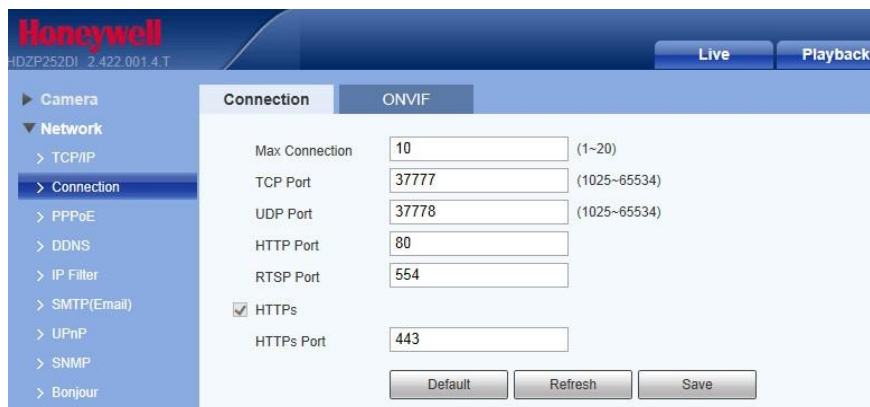


表5-14 接続の構成

パラメータ	機能
Max Connection [最大接続]	同じカメラのネットワークの最大接続数を表示します。値は1~20の範囲です。最大接続数は20です。
TCP Port [TCPポート]	デフォルト設定は37777です。この設定は必要に応じて変更できます。
UDP Port [UDPポート]	デフォルト設定は37778です。この設定は必要に応じて変更できます。
HTTP Port [HTTPポート]	デフォルト設定は80です。この設定は必要に応じて変更できます。

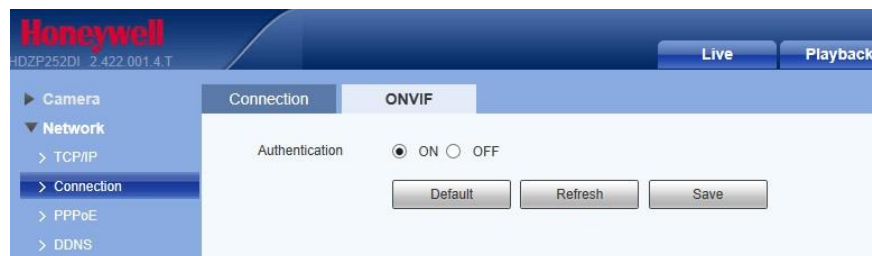
表5-14 接続の構成 (続き)

パラメータ	機能
RTSP Port [RTSPポート]	<p>デフォルト設定は554です。RTSPストリームのクエリ形式は次のとおりです。</p> <p><b>メインストリーム：</b> rtsp://username:password@ip:port/cam/realmonitor?channel=1&amp;subtype=0</p> <p><b>サブストリーム：</b> rtsp://username:password@ip:port/cam/realmonitor?channel=1&amp;subtype=1</p> <p>次の4つの項目を手動で入力する必要があります。Username [ユーザー名]、Password [パスワード]、IP、およびPort [ポート]。</p> <p><b>IP：</b>カメラのIPアドレス。</p> <p><b>Port [ポート]：</b>デフォルトは554です。デフォルト値を使用する場合は、このフィールドは空白のままにすることができます。</p> <p>標準のRTPプロトコルに従ってください。エンコードモードがMJPEGの場合、サポートされる最大解像度は2040×2040です。</p>
HTTPs	HTTPsポートを有効にします。
HTTPs Port [HTTPsポート]	デフォルトは443です。

## ONVIF

ONVIF (Open Network Video Interface Forum) は、IPベースのセキュリティ製品のインターフェースのためのグローバルなオープンスタンダードで、ONVIF仕様は、製造元に関係ないネットワークビデオ製品の相互運用性を目指しています。

図5-18 ONVIF構成インターフェース



ONVIFのデフォルト設定は無効です。ONVIFを有効にするには、**ONVIF**タブで**Enable [有効化]**をクリックします。ONVIFを無効にするには、**Disable [無効化]**をクリックします。

## PPPoE

図5-19 PPPoE構成インターフェース



1. インターネットサービスプロバイダ（ISP）から受信したPPPoE Username [PPPoE ユーザー名]とPassword [パスワード]を入力し、PPPoE機能を有効にします。
2. Save [保存]をクリックして現在の設定を保存し、カメラを再起動してPPPoE設定を有効にします。カメラは再起動後にPPPoE経由でインターネットに接続します。
3. IPアドレス列でWANのIPアドレスを見つけます。

---

**注** PPPoEが有効になっている場合は、PPPoEを干渉しないようにUPnPを無効にします。

---



---

**注** カメラの最新情報を確認するには、そのIPアドレスに移動する必要があります。このアドレスを介してWebクライアントにアクセスできます。

---

## DDNS

### DDNSの手動設定

図5-20 DDNS構成インターフェース



DDNSを設定するには、対応するサービスWebサイトにアクセスしてドメイン名を適用し、そのドメインを介してシステムにアクセスします。これはIPアドレスが変更された場合でも動作します。



表5-15 DDNSの構成

パラメータ	機能
Server Type [サーバーの種類]	ドリップダウンリストからDDNSプロトコルを選択し、 <b>DDNS機能を有効に</b> できます。DDNS機能を有効にするにはHoneywell DDNSサーバー（無料）を選択します。
Server Address [サーバーアドレス]	DDNSサーバーのIPアドレスです。
Domain Name [ドメイン名]	お客様が定義するドメイン名です。
Username [ユーザー名]	サーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
Password [パスワード]	サーバーにログインするためのパスワードを入力します。
Update Period [更新期間]	カメラが定期的にライフ信号（ハートビート）をサーバーに送信する頻度です。カメラとDDNSサーバーの通信間隔をここで設定できます。このフィールドは、Server Type [サーバーの種類]としてHoneywell DDNSが選択されている場合は使用できません。

## Honeywell DDNSを使ったDDNSの設定

DDNSをHoneywell DDNSサーバーに接続するように設定し、サーバーを介してシステムにアクセスできるようにします。

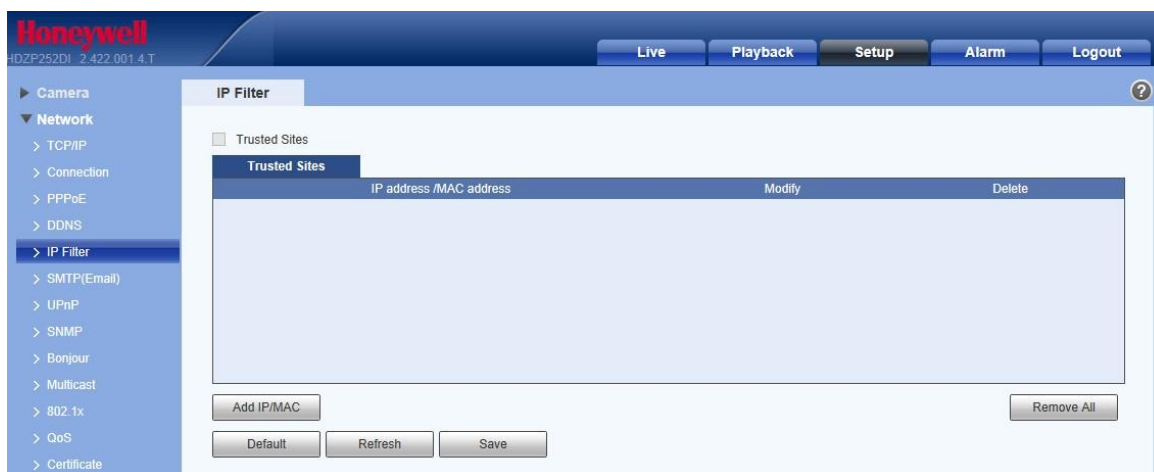
表5-16 Honeywell DDNSの構成

パラメータ	機能
Server Type [サーバーの種類]	ドリップダウンリストからDDNSプロトコルを選択し、 <b>DDNS機能を有効に</b> できます。DDNS機能を有効にするにはHoneywell DDNSサーバー（無料）を選択します。
Server Address [サーバーアドレス]	DDNSサーバーのIPアドレスです。 <b>Honeywell DDNSでは、デフォルトサーバーアドレスは<a href="http://www.hennvr-ddns.com">www.hennvr-ddns.com</a></b> です。
Mode [モード]	Auto [自動]またはManual [手動]を選びます。デフォルトはAuto [自動]です。Manual [手動]を選んだ場合はドメイン名を入力しなければなりません。
Domain Name [ドメイン名]	自動およびお客様定義のどちらのドメイン名も <b>MAC address.hennvr-ddns.com</b> です。プリフィックスはユーザーが定義することができます。
Username [ユーザー名]	サーバーにログインするために入力するユーザー名です（オプション）。

## IPフィルタ

指定されたIP/MACアドレスのみがネットワークカメラにアクセスできるように、IPフィルタ機能を有効にします。IPアドレスまたはIPアドレスセグメント（192.168.1.1～192.168.1.100など）を指定できます。**Trusted Sites [信頼済みサイト]**を有効にするボックスにチェックを入れないと、カメラへのアクセスは制限されません。

図5-21 IPフィルタ構成インターフェース



IPフィルタを介してカメラへのアクセスを制限する前に、ここで最初にTrusted Sites [信頼済みサイト]を設定する必要があります（[図5-21](#)を参照）。Trusted Sites [信頼済みサイト]の下で、Add IP/MAC [IP/MACの追加]をクリックし、カメラにアクセスするために信頼できるサイトのIPまたはMACアドレスを追加します。

---

**注** カメラへのアクセスを許可するアドレスを追加してから、Trusted Sites [信頼済みサイト]を有効化します。

---

**注** ここでMACアドレスの制限を指定する場合、指定されたMACアドレスを持つコンピュータは、IPカメラと同じネットワークサブネットに存在する必要があります。

---

**注意** IPフィルタ/信頼済みサイトのオプションを設定して、カメラへのアクセスが許可されているIP/MACアドレスを忘れた場合は、問題を修復するためにカメラを工場に戻す必要があります。

## SMTP (Eメール)

図5-22 SMTP構成インターフェース

The screenshot shows the 'SMTP (Email)' configuration page in a Honeywell camera's web interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Camera, Network, PTZ, Event, Storage, System, and Information. The 'SMTP (Email)' option is selected under the Network category. The main content area contains the following settings:

- SMTP Server: none
- Port: 25
- Anonymity
- Username: anonymity
- Password: [masked]
- Sender: none
- Authentication: None (dropdown)
- Title: Message (with checked 'Attachment' checkbox)
- Mail Receiver: [empty list with + and - buttons]
- Interval: 0 (Second(0-3600))
- Health Mail
- Update Period: 60 (Second(1-3600))

Buttons at the bottom include 'Email Test', 'Default', 'Refresh', and 'Save'.

表5-17 SMTP (Eメール) の構成

パラメータ	機能
SMTP Server [SMTP サーバー]	サーバーアドレスを入力します。
Port [ポート]	デフォルトのポート設定は25です。この設定は必要に応じて変更できます。
Anonymity [匿名]	有効な場合は、サーバーの匿名機能をサポートします。自動的に匿名でログインできます。ユーザー名、パスワード、送信者情報を入力する必要はありません。
Username [ユーザー名]	送信者のEメールアカウントのユーザー名を入力します。
Password [パスワード]	送信者のEメールアカウントのパスワードを入力します。
Sender [送信者]	送信者のEメールアドレスを入力します。
Authentication [認証]	これは、暗号化モードです。SSL、TLS、またはNone [無し]を選択します。
Title [タイトル]	ここにEメールの件名を入力します。
Attachment [添付ファイル]	スナップショット画像を添付してEメールを送信するには、このボックスにチェックを入れます。
Mail Receiver [メール受信者]	ここに受信者のEメールアドレスを入力します。最大3つのアドレスを追加できます。 アドレスを追加するには、フィールドにアドレスを入力して、[+]をクリックします。アドレスを削除するには、リストからアドレスを選択して、-をクリックします。

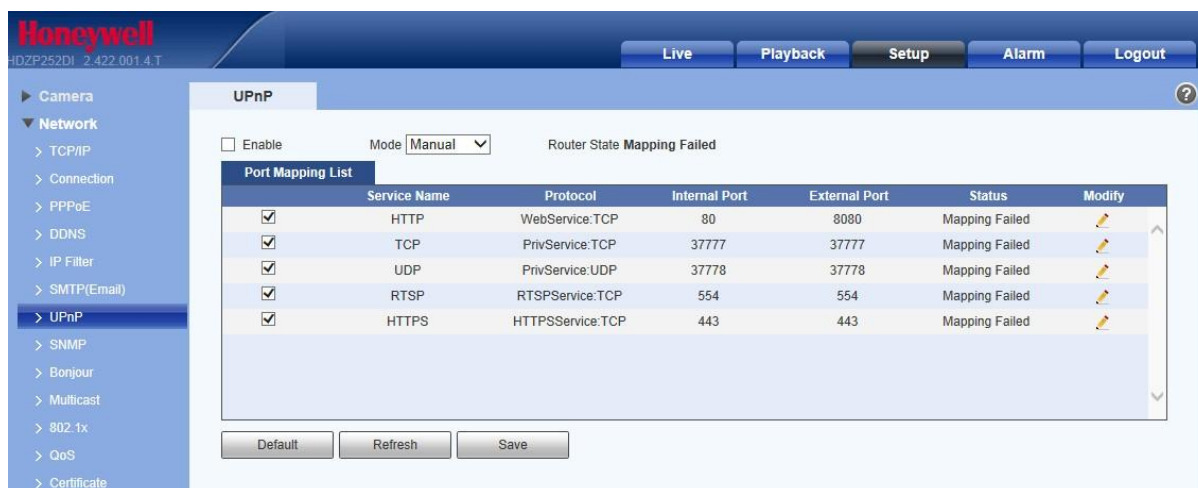
表5-17 SMTP (Eメール) の構成 (続き)

パラメータ	機能
Interval [間隔]	<p>Eメール送信の遅延間隔は、0~3600秒の範囲で設定できます。0秒は、遅延間隔がないことを意味します。</p> <p>アラームが発生した場合、システムがEメールを即時に送信することはありません。アラーム、モーション検出または異常によりEメールが有効化された場合、ここで指定した間隔に従って、システムからEメールが送信されます。これにより、大量のEメールが同時に送信されたときにEメールサーバーの負荷が軽減されます。</p>
Health Mail [ヘルスマール]	<p>ヘルスマール機能を有効化するには、ボックスにチェックを入れます。</p>
Update Period [更新期間] (間隔)	<p>この機能を使用すると、接続に問題がないかどうかを確認するテストメールを送信できます。</p> <p>ボックスにチェックを入れてこの機能を有効化し、対応する間隔を設定してください。</p> <p>システムが定期的にスケジュールされたEメールを送信するように、Update Period [更新期間]を設定することができます。</p>
Email Test [Eメールテスト]	<p>システムは自動的に接続をテストするためのEメールを送信します。Eメールテストを送信する前に、Eメール設定情報を保存する必要があります。</p>

## UPnP

UPnPを使用すると、LANとパブリックネットワーク間のマッピング関係を確立できます。UPnP構成インターフェースでは、UPnP項目を追加、変更、または削除できます。

図5-23 UPnP構成インターフェース



### WindowsでのUPnPの有効化

WindowsでUPnPが有効になっている場合、カメラをMy Network Places [マイネットワーク] から自動的に検出できます。

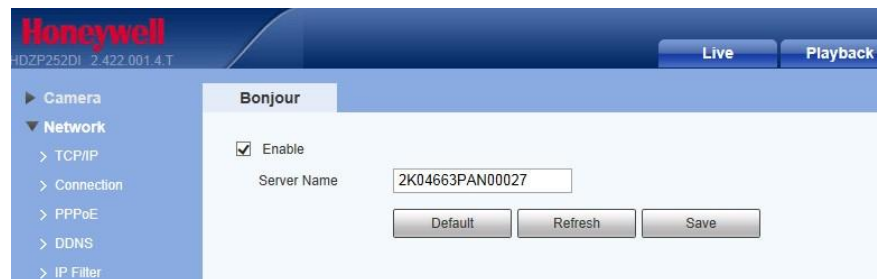
**注** Windows 7システムでは、UPnPはデフォルトで有効になっています。この手順はWindows XPに適用されます。

1. スタート コントロールパネル プログラムの追加と削除に移動します。
2. プログラムの追加と削除をクリックして、Windows コンポーネントウィザードからネットワークサービスを選びます。
3. 詳細をクリックして、インターネットゲートウェイデバイスの検出とクライアントの制御およびUPnP ユーザーインターフェースを選択するためにクリックします。
4. OKをクリックしてインストールを始めます。

## Bonjour

BonjourはAppleのマルチキャストDNSサービスに基づいています。それは自動的にそのサービス情報を放送し、他のカメラからのカメラ情報を聞くことができます。

図5-24 Bonjour構成インターフェース



IPアドレスなどのネットワークカメラの情報がわからない場合は、同じLAN上のBonjourブラウザを使用してネットワークカメラを検索してアクセスできます。Bonjourがネットワークカメラを検出すると、サーバー名が表示されます。

1. ブラウザでDisplay All Bookmarks [すべてのブックマークを表示]をクリックします。
2. Bonjourを開きます。システムはLAN上のBonjourを介してネットワークカメラを自動的に検出するはずですが。

## マルチキャスト

マルチキャストはデータパケットの伝送モードです。同じデータパケットを受信するホストが2つ以上存在する場合、複数のキャスト（マルチキャスト）はネットワーク帯域とCPUの負荷を減らすための最良の選択肢です。送信元ホストはデータパケットを1つだけ送信できます。この機能は、グループメンバーとルーターのグループとの関係によって異なります。

Multicast [マルチキャスト]構成インターフェースでは、マルチキャストのアドレスとポートを設定できます。

**注** プロトコルをMulticast [マルチキャスト]に設定するには、Live [ライブ]インターフェースに移動する必要があります。[動画エンコーダのコントロール、22ページ](#)の「プロトコル」を参照してください。

図5-25 マルチキャスト構成インターフェース

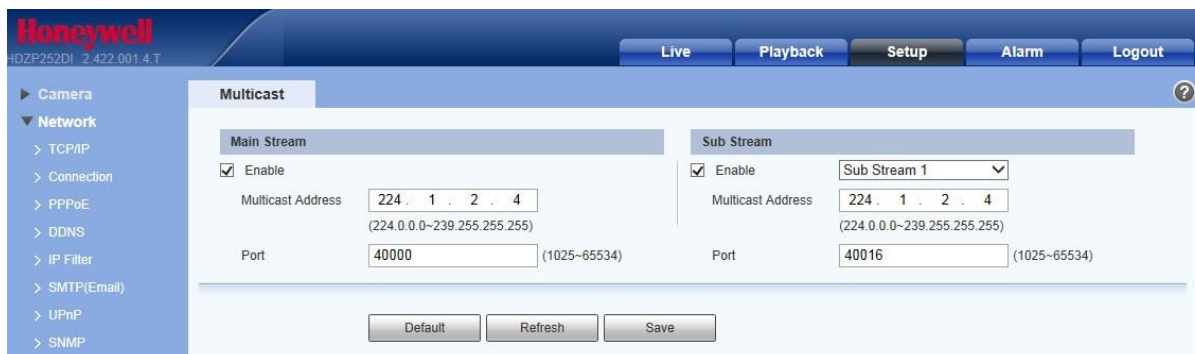


表5-18 マルチキャストの構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	マルチキャスト機能を有効化するには、ボックスにチェックを入れます。 <b>注</b> メインストリームとサブストリームを同時に使用することはできません。
Multicast Address [マルチキャストアドレス]	メイン/サブストリームマルチキャストアドレスは239.255.42.42で範囲は224.0.0.0~239.255.255.255です。
Port [ポート]	マルチキャストポートです。メインストリームは36666、サブストリームは36667、範囲は1025~65534です。

## IEEE802.1X

IEEE802.1Xは、ローカルおよびメトロポリタンエリアネットワークのアクセス制御および認証プロトコルで、ポートベースのネットワークアクセス制御プロトコルを使用して、許可されていないユーザーおよび/またはデバイスへのLANへのアクセスを制限します。

IEEE802.1Xでは、クライアントはLANにアクセスするための認証の仕組みを手動で選択できます。IEEE802.1Xは次の機能をサポートしています。

- 認証
- 手数料の計算
- セキュリティの確保
- 要件の維持

図5-26 802.1X構成インターフェース



表5-19 802.1Xの構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	IEEE802.1X機能を有効にするには、チェックを入れます。
Authentication [認証]	PEAP（保護されたEAPプロトコル）
Username [ユーザー名]	ユーザー名を入力してログインします。このユーザー名はサーバーによって認証されます。
Password [パスワード]	パスワードを入力します。

## QoS

Quality of Service (QoS) はネットワークセキュリティメカニズムで、ネットワークの遅延や故障の問題を修正します。たとえば、ネットワークサービスの場合、サービス品質には、伝送帯域幅、遅延、およびパケット損失などが含まれます。QoSを使用すると、パケットの優先順位付けによって伝送帯域幅を保証し、遅延を減らし、データパケットの損失を減らし、品質を向上させることができます。

図5-27 QoS構成インターフェース

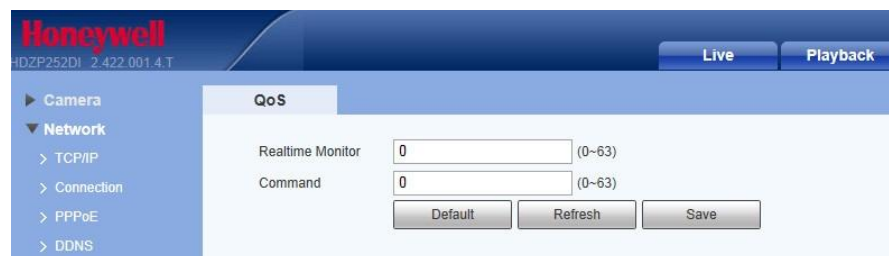


表5-20 QoSの構成

パラメータ	機能
Realtime Monitor [リアルタイムモニター]	値は、0～63の範囲です。ルーターまたはスイッチは、パケットごとに異なるサービスを提供することができます。
Command [コマンド]	値は、0～63の範囲です。ルーターまたはスイッチは、パケットごとに異なるサービスを提供することができます。

## ストレージ設定の構成

### スケジュールとスナップショットスケジュールの記録

スケジュールおよびスナップショットスケジュールの記録を追加または削除できます。録画モードには次の3つのタイプがあります。General [通常] (自動)、Motion Detection [モーション検出]、およびAlarm [アラーム]。1日あたり最大6つの録画時間を設定できます。

**注** 次に移動して、対応する録画モードを有効にしたことを確認してください。Setup [設定] ▶ Storage [ストレージ] ▶ Conditions [条件]。



図5-28 録画スケジュール構成インターフェース

#### 録画スケジュールカラーコード：

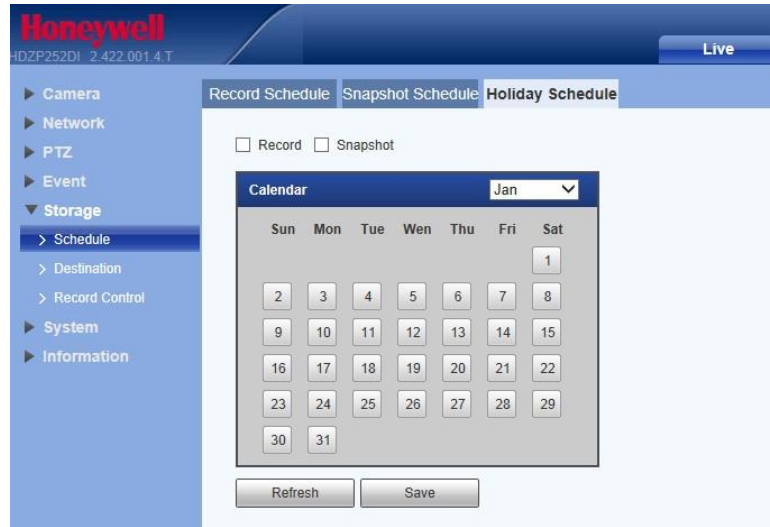
- 緑：通常の録画/スナップショット
- 黄色：モーション検出録画/スナップショット
- 赤：アラーム録画/スナップショット

#### 休日の設定

録画スケジュールが異なる設定の場合は、特定の日を休日として設定することができます。有効にすると、選択/設定された日付は休日スケジュール設定に従って記録されます。



図5-29 休日スケジュール



## 送信先

### パス

Path [パス]タブでは、録画した動画ファイルまたはスナップショットが保存される場所を割り当てることができます。カメラのモデルによっては、録画した動画やスナップショットをマイクロSDカード、FTPサーバー、NASディスクに保存することができます。

また、Schedule [スケジュール]インターフェース（通常、モーション、アラーム）の3つの録画モードに対応するイベントタイプ（スケジュール、モーション検出、アラーム）に従って、録画された動画ファイルとスナップショットを保存するようにシステムを設定することもできます。

図5-30 パス構成インターフェース



表5-21 パスの構成

パラメータ	機能
Event Type [イベントタイプ]	Scheduled [スケジュール]、Motion Detect [モーション検出]、またはAlarm [アラーム]を選択します。
Local [ローカル]	マイクロSDカードにファイルを保存する場合に選択します。
FTP	ファイルをFTPサーバーに保存する場合に選択します。
NAS	ファイルをNASディスクに保存する場合に選択します。

## Local [ローカル]

Local [ローカル]タブで、ローカルのマイクロSDカードディスク情報（容量など）を表示できます。Read Only [読み取りのみ]、Read & Write [読み取り&書き込み]、Hot Swap [ホットスワップ]、およびFormat [フォーマット]機能にもアクセスできます。

図5-31 ローカルストレージ構成インターフェース



## FTP

FTPタブでは、FTP記憶装置機能を有効にできます。有効にすると、イベントトリガーの動画とスナップショット（[パス](#)、[65ページ](#)で何が選択されたかによってスケジュールまたはモーション検出のいずれか）が指定したFTPサーバーに保存されます。

図5-32 FTP構成インターフェース



表5-22 FTPの構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	FTPオプションを有効にするには、ボックスにチェックを入れます。
Server Address [サーバーアドレス]	FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
Port [ポート]	デフォルト設定は21です。この設定は必要に応じて変更できます。
User Name [ユーザー名]	サーバーのユーザー名を入力します。
Password [パスワード]	サーバーのパスワードを入力します。

表5-22 FTPの構成 (続き)

パラメータ	機能
Remote Directory [リモートディレクトリ]	録画された動画とスナップショットが保存されるストレージディレクトリを設定します。
Emergency (Local) [緊急 (ローカル)]	FTPへのネットワーク接続が利用できないときにローカルのマイクロSDカードに保存するためにEmergency (Local) [緊急 (ローカル)] を有効にします。

## NAS

NASタブでは、NASストレージ機能を有効にできます。有効にすると、イベントトリガーの動画とスナップショット ([パス](#)、[65ページ](#)で何が選択されたかによってスケジュールまたはモーション検出のいずれか) が指定したNASサーバーに保存されます。

図5-33 NAS構成インターフェース



表5-23 NASの構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	NASオプションを有効にするには、ボックスにチェックを入れます。
Server Address [サーバーアドレス]	NASサーバーのIPアドレスを入力します。
Remote Directory [リモートディレクトリ]	録画された動画とスナップショットが保存されるストレージディレクトリを設定します。

## 録画コントロール

図5-34 録画コントロール構成インターフェース



表5-24 録画コントロールの構成

パラメータ	機能
Pack Duration [バック期間]	ファイルサイズを選択します。デフォルトは30分です。
Pre-event Record [イベント前録画]	Pre-record [事前録画]値を入力します。イベントトリガーの前に録画する秒数です。 たとえば、システムは4秒分の動画をバッファに録画できます。録画は最大でイベントトリガーの5秒前に開始されます。
Disk Full [ディスク満杯]	HDDがいっぱいの場合にはStop Recording [録画を停止]か前のファイルのOverwrite [上書き]を選択します。 Overwrite [上書き]: 現在の作業HDDがいっぱいになると、システムは最も古いファイルを上書きします。 Stop [停止]: 現在の作業HDDがいっぱいになるか、上書きされていると、システムは録画を停止します。
Record Mode [録画モード]	Auto [自動]、Manual [手動]、またはOff [なし]を選択します。
Record Stream [録画ストリーム]	Main Stream [メインストリーム]またはSub Stream [サブストリーム]のいずれから録画するかを選択します。

## システム設定の構成

### 一般システム設定

一般システムインターフェースには、ローカルホストの設定（カメラ名とGUI言語を含む）と日付/時刻の設定が含まれます。

#### General [一般]

図5-35 一般システム構成インターフェース



表5-25 一般システムの構成

パラメータ	機能
Device Name [デバイス名]	カメラ名を入力します。
Language [言語]	ドロップダウンリストから言語を選択します。
Video Standard [ビデオ規格]	次のビデオ規格を選択します。NTSCまたはPAL。
TVOut [TV出力]	TV出力を、OFF [なし] (デフォルト) またはTVのいずれかとして選択します。
Max Log Quantity [最大ログ量]	カメラが保存するログの最大数を入力します。

## 日付と時刻

図5-36 日付&amp;時刻構成インターフェース

表5-26 日付&amp;時刻の構成

パラメータ	機能
Date Format [日付形式]	ドロップダウンリストから日付形式を選択します。
Time Format [時刻形式]	時刻形式を24-hour [24時間]または12-hour [12時間]から選択します。
Time Zone [タイムゾーン]	カメラのタイムゾーンを選択します。
Current Time [現在時刻]	カメラの時刻と日付を設定します。この時刻を有効にするにはSave [保存]をクリックします。
Sync PC [PCの同期]	クリックすると、カメラの時刻とPCの時刻が同期します。
DST	夏時間の開始と終了を設定します。Date [日付]モードまたはWeek [週]モードを選択します。Date [日付]モードの場合、DSTの切り替え日として、年内の特定の日付を入力できます。Week [週]モードの場合は、毎年繰り返すことができる相対的な週と日付を選択します (たとえば、3月の第2日曜日)。
NTP	NTPを有効化するには、クリックします。

表5-26 日付&amp;時刻の構成（続き）

パラメータ	機能
NTP Server [NTPサーバー]	NTPタイムサーバーの名前/アドレスを入力します。
Port [ポート]	NTPタイムサーバー用のポートを設定します。
Update Period [更新期間]	カメラとタイムサーバー間の同期期間を設定します。

## アカウント設定

システムは、ユーザー名またはユーザーグループ名で最大15文字をサポートします。ユーザー名またはグループ名には、文字、数字、アンダースコア（\_）を使用できます。

最大18人のユーザーと8つのグループ（工場出荷時のデフォルト設定）を設定できます。工場出荷時の設定には、次の2つのユーザーレベルがあります。user [ユーザー]およびadmin [管理者]（大文字と小文字を区別）。

グループを設定するときには、そのグループの権限を設定できます。グループ内の個人にも権限を設定することができます。

**注** ユーザー管理はグループ/ユーザーモードを採用しています。ユーザー名とグループ名は一意である必要があります。ユーザーは一度に1つのグループにのみ含めることができます。

## User Name [ユーザー名]

Username Configuration [ユーザー名構成]インターフェースでは、匿名ログインの有効化、ユーザーの追加/削除、ユーザー名の変更を実行できます。

図5-37 ユーザー名構成インターフェース

The screenshot displays the 'Account' configuration page in the Honeywell web interface. At the top, there are navigation tabs for 'Live', 'Playback', 'Setup', 'Alarm', and 'Logout'. The left sidebar shows a menu with 'System' expanded to 'Account'. The main content area has a sub-header 'Account' and a checkbox for 'Anonymous Login'. Below this is a table with the following data:

No.	User Name	Group Name	Remark	Modify	Delete
1	admin	admin	admin's account		

Below the table is an 'Authority List' section with a grid of permissions:

Authority List				
Live	Playback	Record Control	Backup	PTZ
Account	Log Search	Clear Log	Upgrade	Auto Maintain
General	Video/Audio	Schedule/Destination	Network	Abnormality
Video/Audio Detection	PTZ Settings	Default/Import/Export	Conditions	IR Light Control

An 'Add User' button is located at the bottom of the page.

**Enable Anonymous Login [匿名ログインの有効化]**：クリックすると有効になります。有効な場合、IPを入力すると、ユーザー名やパスワードは必要なくなります。匿名で（限られた権限で）ログインできます。匿名セッションを終了するにはLogout [ログアウト]をクリックします。

**ユーザーを追加**：グループにユーザーを追加し、そのユーザーの権限を構成します（[図5-38](#)を参照）。

図5-38 ユーザー追加構成インターフェース

ユーザーの追加先となるデフォルトのユーザーグループは2種類あります。

- Admin [管理者]
- 隠しユーザー "default"

隠しユーザー "default"は、内部システムのみのものであり、削除することはできません。ログインユーザーがない場合は、ログインにはこの隠しユーザー "default"が自動的に使用されます。隠しユーザーがログインしなくてもチャンネルを表示できるように、監視機能などのユーザーの権限を構成できます。

ユーザーを追加するには、Add User [ユーザーを追加]構成インターフェース（[図5-38](#)を参照）でユーザー名とパスワードを入力し、グループを選択します。一般ユーザーの権限が管理ユーザーよりも少ないことを確認してください。

---

**注** ユーザーの権限は、ユーザーが所属するグループの権限を超えることはできません。

---


**ユーザーの変更**：ユーザーのグループ、パスワード、および権限を含むプロパティを変更するには、をクリックします。

図5-39 ユーザー変更インターフェース

The 'Modify User' dialog box contains the following elements:

- User Name: dropdown menu with 'admin' selected.
- Modify Password: unchecked checkbox.
- Group: dropdown menu with 'admin' selected.
- Remark: text input field containing 'admin's account'.
- Authority List: list box with checkboxes for 'All', 'Live', 'Playback', 'Record Control', and 'Backup', all of which are checked.
- Buttons: 'Save' and 'Cancel' buttons at the bottom.

**パスワードの変更:** 古いパスワードを一度入力し、新しいパスワードを2回入力して新しいパスワードを確認します。Save [保存]をクリックして新しい設定を保存します。

**注** パスワードには、数字と文字のみを使用して32文字まで含めることができます。

アカウント権限を持つユーザーのみが他のユーザーのパスワードを変更できます。

## Group [グループ]

Group [グループ]構成インターフェースでは、グループを追加、削除、および変更することができます。

図5-40 グループ構成インターフェース

The screenshot shows the 'Account' configuration page in the Honeywell web interface. The page includes a navigation menu on the left and a main content area with the following components:

- Account Configuration:**
  - Anonymous Login: unchecked checkbox.
  - Table of User Groups:
- Authority List:** A grid of permissions for different user groups.
- Buttons:** 'Add Group' button at the bottom.

No.	Group Name	Remark	Modify	Delete
1	admin	administrator group		
2	user	user group		

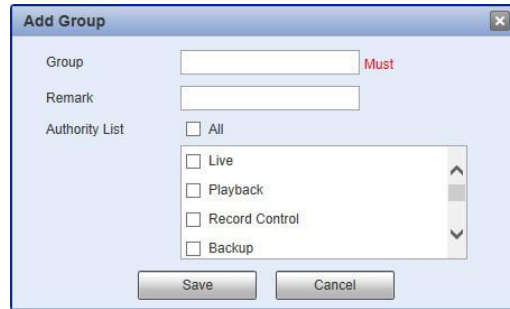
  

Authority List				
Live	Playback	Record Control	Backup	PTZ
Account	Log Search	Clear Log	Upgrade	Auto Maintain
General	Video/Audio	Schedule/Destination	Network	Abnormality
Video/Audio Detection	PTZ Settings	Default/Import/Export	Conditions	IR Light Control



**グループの追加**：グループを追加し、そのユーザーの権限を構成します。グループ名を入力します。グループの対応する権限を選択するには、ボックスにチェックを入れます（Live [ライブ]、Record Control [録画コントロール]、Account [アカウント]など）。

図5-41 グループ追加インターフェース




**グループの変更**：Modify Group [グループを変更]（) をクリックして、Modify Group [グループを変更]インターフェース（[図5-42](#)を参照）を開きます。

図5-42 グループ変更インターフェース



Modify Group [グループを変更]インターフェースで、Remarks [備考]やRights [権限]を編集できます。

## 出荷時設定の復元

Default [デフォルト]をクリックすると、カメラが出荷時のデフォルト設定に戻ります。

図5-43 デフォルトインターフェース



**注** システムは、ネットワークIPアドレスなどの一部の情報をリセットすることはできません。

## インポート/エクスポート

後から使用できるように構成を保存（エクスポート）したり、以前にエクスポートした構成をカメラにインポートしたりすることができます。

図5-44 インポート/エクスポート構成インターフェース



表5-27 インポート/エクスポートの構成

パラメータ	機能
Import [インポート]	ローカル設定ファイルをシステムにインポートする場合にクリックします。
Export [エクスポート]	現在のシステム設定をローカルPCにエクスポートする場合にクリックします。

## 自動メンテナンス

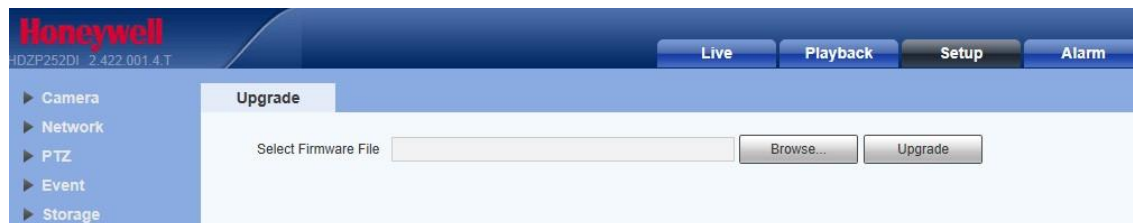
この構成画面から、Auto Reboot [自動再起動]、Auto Delete Old Files [古いファイルを自動消去]、またはManual Reboot [手動再起動]のいずれかを実行できます。

図5-45 自動メンテナンス構成インターフェース



## Upgrade [アップグレード]

図5-46 アップグレードインターフェース



Browse [参照]をクリックして、アップグレードファイルを選択してから、Upgrade [アップグレード]をクリックして、ファームウェア更新を開始します。

**注意** 不適切なアップグレードファイルを選択すると、カメラの誤動作の原因となることがあります。

## システム情報の表示

### Version [バージョン]

Version [バージョン]インターフェースでは、システムハードウェアの機能、ソフトウェアのバージョン、およびリリース日を表示できます。このマニュアルは参照目的のみに作成されています。

図5-47 バージョンインターフェース



### Log [ログ]

Log [ログ]インターフェースを使用して、ログエントリ内を検索できます。

図5-48 ログインインターフェース

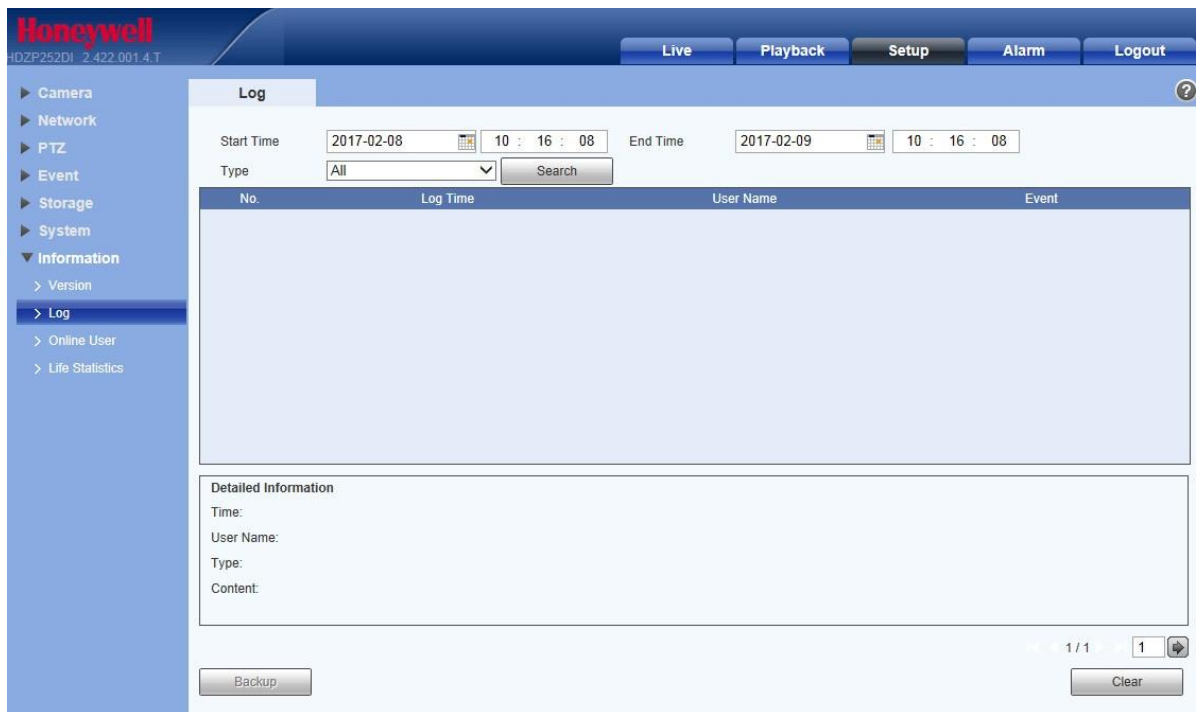


表5-28 ログインインターフェースの構成

パラメータ	機能
Start Time [開始時刻]	要求されたログの開始時刻を設定します。
End Time [終了時刻]	要求されたログの終了時刻を設定します。
Type [タイプ]	ログタイプを選択します。System [システム]、Operation [操作]、Configuration Operation [構成操作]、Data Operation [データ操作]、Event Operation [イベント操作]、Record Operation [録画操作]、Account Management [アカウント管理]、Log Clearing [ログ消去]、およびAll [すべて]。
Search [検索]	ドロップダウンリストからログタイプを選択し、Search [検索]をクリックして、検索によって生成されたログリストを表示します。現在の検索を終了するには、Stop [停止]をクリックします。
Detailed Information [詳細情報]	詳細情報を表示するには、1つの項目を選択します。
Backup [バックアップ]	現在選択されているPCにログファイルをバックアップするには、Backup [バックアップ]をクリックします。
Clear [クリア]	Clear [クリア]をクリックすると、表示されたすべてのログファイルが削除されます。 <b>注</b> タイプによるクリアはサポートされていません。

## Online User [オンラインユーザー]

このページでは、現在のオンラインユーザー、グループ名、IPアドレス、ログイン時間を表示できます（[図5-49](#)を参照）。

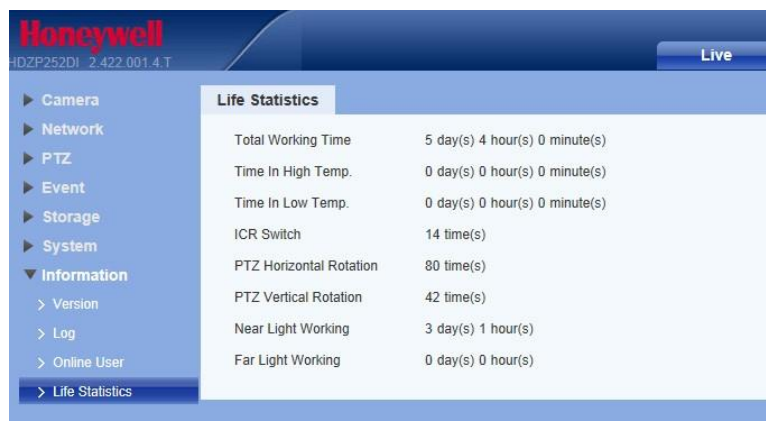
図5-49 オンラインユーザーインターフェース



## Life Statistics [生活統計]

実行された水平回転と垂直回転の数、作動時間の総計、IR LEDが作動中だった時間、高/低温範囲で費やされた時間などのPTZカメラ統計を表示できます（[図5-50](#)を参照）。

図5-50 生活統計インターフェース





# 6

## PTZ機能

この章は以下の項で構成されています。

- [PTZプリセット位置のプログラミング、79ページ](#)
- [PTZツアーのプログラミング、81ページ](#)
- [PTZスキャンの構成、82ページ](#)
- [PTZパターンの設定、83ページ](#)
- [パン設定の構成、85ページ](#)
- [PTZ移動速度の構成、85ページ](#)
- [PTZアイドルモーションアクションの構成、86ページ](#)
- [パワーアップアクションの構成、87ページ](#)
- [時間タスクアクションの構成、88ページ](#)
- [PTZカメラのリスタート、89ページ](#)
- [PTZ出荷時設定の復元、89ページ](#)

---

## PTZ機能の設定

---

### PTZプリセット位置のプログラミング

カメラのパン/チルト/ズーム用に最大300のプリセットポイントをプログラムできます。プリセットポイントはユーザーが移動先のプリセットを選択したときにPTZカメラが自動的に移動できる事前にプログラミングされた位置です。

#### プリセットポイントのプログラミング

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Preset [プリセット] に移動します (図6-1参照)。
2. 新しいプリセットをプリセットリストに追加するには、Add [追加] をクリックします。複数のプリセットがリストされている場合、または以前に設定したプリセットを変更する場合は、プログラミング対象のプリセットの行が選択されていることを確認してから、ステップ3と4を実行します。

図6-1 プリセット位置構成インターフェース



3. 動画画面の下で、PTZコントロールを使用して、画像を目的のプリセット位置に移動します。
4. 必要に応じて、各設定の[+]および[-]ボタンを使用して、Zoom [ズーム]、Focus [フォーカス]、Iris [絞り]の設定を調整します。
5. 必要な場合は、Preset Title [プリセットタイトル]をダブルクリックして、固有のプリセットタイトルを入力します。
6. 必要な場合は、プリセットのNo.[番号]をダブルクリックして、現在のプリセットに別のプリセット番号を入力します。
7. プリセットのSave [保存]アイコン () をクリックすると、プリセットが保存されます。

## プリセットポイントの削除

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Preset [プリセット]に移動します (図6-1を参照)。
2. 削除するプリセットのDelete [削除アイコン] () をクリックします。

**注** または、Clear [クリア]をクリックすると、リスト内のすべてのプリセットを削除できます。

## プリセットポイントへの移動

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Preset [プリセット]に移動します (図6-1を参照)。
2. Preset [プリセット]リストからカメラの移動先にするプリセットを選択します。カメラは、そのプリセット位置のポイントに移動します。



**注** PTZ Webクライアントインターフェースのライブビューページでプリセットに移動することもできます。詳細については、[PTZ機能：プリセット、26ページ](#)を参照してください。

## PTZツアーのプログラミング

最大8つのツアーをプログラムでき、各ツアーは2～32のプリセットポイントで構成できます。

**注** プリセットツアーをプログラムするには、事前にプリセットを定義する必要があります。プリセットポイントのプログラミング方法の詳細については、[プリセットポイントのプログラミング、79ページ](#)を参照してください。

図6-2 ツアー構成インターフェース



### ツアーのプログラミング

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Tour [ツアー] に移動します (図6-2を参照)。
2. Tour No. [ツアー番号] と Tour Name [ツアー名] の表 (表の上部) で、Add [追加] をクリックします。新しいツアー行が表に追加されます。プログラムするツアーのツアー行が選択されていることを確認してから、次のステップに進みます。
3. Preset [プリセット] の表 (表の下部) で、Add [追加] をクリックしてプリセットをツアーに追加します。ツアーに必要なプリセット数 (最大32) になるまで、続けてAdd [追加] をクリックします。

追加したプリセット行が不要になった場合は、削除するプリセットの横にあるDelete [削除] アイコン (🗑️) をクリックします。

4. ツアー内の各プリセットで、Preset [プリセット]名をダブルクリックすると、すべてのプログラムされたプリセット位置を示すドロップダウンリストが表示されます。ツアー内のポイントごとに必要なプリセット位置を選択します。
5. 各プリセットのデフォルトのDuration [期間]は、10秒です。プリセットの期間を変更するには、そのプリセットのDuration [期間]をダブルクリックし、表示されたフィールドに新しい期間（秒単位）を入力します。
6. Preset [プリセット]の表の下のSave [保存]をクリックして、ツアーへのすべての変更内容を保存します。

## ツアーの実行

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Tour [ツアー]に移動します（[図6-2](#)を参照）。
2. Tour [ツアー]の表で、実行するツアーを選択し、Start [開始]をクリックします。

---

**注** PTZ Webクライアントインターフェースのライブビューページでツアーを実行することもできます。詳細については、[PTZ機能：ツアー、26ページ](#)を参照してください。

---

## 実行中のツアーの停止

ツアーを停止するには、PTZコントロールを使用してカメラを任意の方向に移動するか、Start [開始]ボタンの横にあるStop [停止]ボタンをクリックします。

## プログラムしたツアーの削除

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Tour [ツアー]に移動します（[図6-2](#)を参照）。
2. 削除するツアーのDelete [削除]アイコン（）をクリックします。

## PTZスキャンの構成

最大5つのスキャンパスをプログラムできます。スキャンは、水平線上で動作し、プログラムした2ポイント間を往復する短時間のツアーです。

## スキャンパスのプログラミング

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Scan [スキャン]に移動します（[図6-3](#)を参照）。
2. Scan No. [スキャン番号]ドロップダウンリストで、プログラムするスキャンの番号（1～5）を選択します。
3. Speed [速度]バーでスキャンの速度（1（低速）～8（高速））を選択します。

図6-3 スキャン構成インターフェース



4. Set [設定]をクリックします。Set Left Limit [左側限界を設定]およびSet Right Limit [右側限界を設定]ボタンが表れます。
5. 動画画面の下で、PTZコントロールを使用して、画像を目的の左側限界位置または右側限界位置に移動します。必要に応じて、各設定の[+]および[-]ボタンを使用して、Zoom [ズーム]、Focus [フォーカス]、Iris [絞り]の設定を調整します。プログラムしてある限界位置に対してSet Left Limit [左側限界を設定]またはSet Right Limit [右側限界を設定]のいずれかをクリックします。
6. ステップ5を繰り返して他方の限界位置を設定します。これで、PTZカメラが往復してスキャンする左右のポイントがプログラムされました。

## スキャンの実行

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Scan [スキャン]に移動します (図6-3を参照)。
2. Scan No. [スキャン番号]ドロップダウンリストで、実行するスキャンを選択し、Start [開始]をクリックします。

**注** PTZ Webクライアントインターフェースのライブビューページでスキャンを実行することもできます。詳細については、[PTZ機能：スキャン、26ページ](#)を参照してください。

## 実行中のスキャンの停止

スキャンを停止するには、PTZコントロールを使用してカメラを任意の方向に移動するか、Start [開始]ボタンの横にあるStop [停止]ボタンをクリックします。

## PTZパターンの設定

後から呼び出すことができる最大5つのパターンツアーをプログラムできます。パターンツアーは、後から繰り返すことができるように、PTZの移動を録画します。

## パターンパスのプログラミング

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Pattern [パターン] に移動します (図6-4を参照)。
2. Pattern No. [パターン番号] ドロップダウンリストで、プログラムするスキンの番号 (1~5) を選択します。

図6-4 パターン構成インターフェース



3. Set [設定] をクリックします。Start Rec [録画を開始] および Stop Rec [録画を停止] ボタンが表示されます。
4. Start Rec [録画を開始] をクリックします。
5. 動画画面の下で、PTZコントロールを使用して、パターンに含めるPTZの移動の最初から最後までカメラを移動します。必要に応じて、パターン録画中に[+]および[-]ボタンを使用して、Zoom [ズーム]、Focus [フォーカス]、Iris [絞り] の設定を調整します。呼び出したときに期待通りに移動するようにPTZパターンがプログラムされていることを確認します。カメラを特定のポイントで一時停止する場合は、一時停止したことを確認してから、パターンの移動を続行します。
6. すべてのPTZパターンの移動が終了したら、Stop Rec [録画を停止] をクリックします。ここで、パターン番号が保存されます。

## パターンの実行

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Pattern [パターン] に移動します (図6-4を参照)。
2. Pattern No. [パターン番号] ドロップダウンリストで、実行するスキンを選択し、Start [開始] をクリックします。

**注** PTZ Webクライアントインターフェースのライブビューページでパターンを実行することもできます。詳細については、[PTZ機能：パターン、26ページ](#)を参照してください。

## 実行中のパターンの停止

パターンを停止するには、PTZコントロールを使用してカメラを任意の方向に移動するか、Start [開始]ボタンの横にあるStop [停止]ボタンをクリックします。

## パン設定の構成

設定された速度で水平軸の周りを継続的にパンするようにPTZを設定できます。

### パンの実行

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Pan [パン]に移動します (図6-5を参照)。
2. Speed [速度]バーでパンの速度 (1 (低速) ~ 8 (高速)) を選択します。
3. 動画画面の下で、PTZコントロールを使用して、画像を目的のパンの開始位置に移動します。パンは、設定した位置から水平方向に継続的に回転します。必要に応じて、各設定の[+]および[-]ボタンを使用して、Zoom [ズーム]、Focus [フォーカス]、Iris [絞り]の設定を調整します。
4. Start [開始]をクリックしてパン機能を開始します。パンがそれ以上必要なくなった場合は、Stop [停止]をクリックします。

図6-5 パン構成インターフェース



**注** PTZ Webクライアントインターフェースのライブビューページでパンを実行することもできます。詳細については、[PTZ機能：パン、26ページ](#)を参照してください。

## PTZ移動速度の構成

PTZコントロールを使用して手動で制御している場合にPTZの移動速度を設定できます。

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ PTZ Speed [PTZ速度]に移動します (図6-6を参照)。
2. Low [低] (低速)、Middle [中]、High [高] (高速) から、PTZの速度を選択します。

図6-6 PTZ速度構成インターフェース



## PTZアイドルモーションアクションの構成

PTZにアイドルモーションアクションを構成して、設定したアイドル時間数がPTZの移動間または機能間で経過したときにプログラムされたアクションを実行できます。

図6-7 アイドルモーション構成インターフェース



1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Idle Motion [アイドルモーション]に移動します (図6-7を参照)。

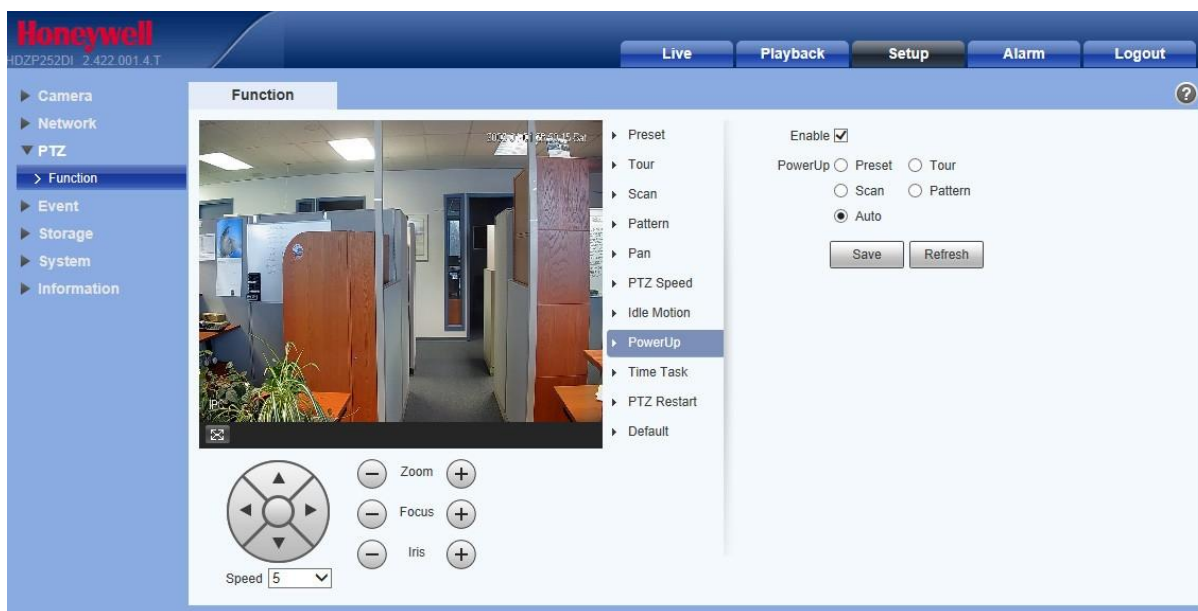
2. アイドルモーション機能を有効化するには、Enable [有効化]ボックスにチェックを入れます。
3. Idle Time [アイドル時間]フィールドに、アイドルモーションアクションを実行する前に経過させる時間（1～60分）を入力します。
4. 設定した時間が経過した後に実行するIdle Motion [アイドルモーション]アクションとして、Preset [プリセット]、Tour [ツアー]、Scan [スキャン]、Pattern [パターン]のいずれかを選択します。アクションタイプを選択したら、ドロップダウンリストを使用して、アイドル時間が経過した後に実行するプリセット、ツアー、スキャン、またはパターンの番号を選択します。
5. Save [保存]をクリックして設定を保存します。

**注** アイドルモーションアクションとして、プリセット、ツアー、スキャン、またはパターンを設定するには、事前にそれらをプログラムしておく必要があります。

## パワーアップアクションの構成

PTZにパワーアップアクションを構成して、カメラの電源投入時にプログラムしたアクションを実行できます。

図6-8 パワーアップ構成インターフェース



1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ PowerUp [パワーアップ]に移動します（図6-8を参照）。
2. パワーアップ機能を有効化するには、Enable [有効化]ボックスにチェックを入れます。
3. PTZに電源投入後に実行するPowerUp [パワーアップ]アクションとして、Preset [プリセット]、Tour [ツアー]、Scan [スキャン]、Pattern [パターン]、およびAuto [自動]のいずれかを選択します。アクションタイプを選択したら、ドロップダウンリストを使用して、PTZへの電源投入時に実行するプリセット、ツアー、スキャン、またはパターンの番号を選択します。Auto [自動]を選択した場合、PTZは自動回転してから停止します。
4. Save [保存]をクリックして設定を保存します。

**注** パワーアップアクションとして、プリセット、ツアー、スキャン、またはパターンを設定するには、事前にそれらをプログラムしておく必要があります。

## 時間タスクアクションの構成

PTZに時間タスクアクションを構成して、指定した期間の間、実行することができます。最大4つの時間タスクをプログラムでき、それぞれ最大6つの期間を含めることができます。

図6-9 時間タスク構成インターフェース



1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Time Task [時間タスク]に移動します (図6-9を参照)。
2. 時間タスク機能を有効化するには、Enable [有効化]ボックスにチェックを入れます。
3. Time Task num [時間タスク番号]ドロップダウンリストから、プログラムする時間タスクを選択します。
4. 設定した時刻に実行するTime Task action [時間タスクアクション]として、Preset [プリセット]、Tour [ツアー]、Scan [スキャン]、Pattern [パターン]のいずれかを選択します。アクションタイプを選択したら、ドロップダウンリストを使用して、実行するプリセット、ツアー、スキャン、またはパターンの番号を選択します。

**注** 時間タスクアクションとして、プリセット、ツアー、スキャン、またはパターンを設定するには、事前にそれらをプログラムしておく必要があります。

5. フィールドにAutoHome [オートホーム]値 (1~3600秒) を入力します。時間タスク期間が終了後、オートホーム時間が経過すると、PTZカメラは元の位置に戻ります。
6. Period setting [期間設定]をクリックして、Period Setup [期間設定]ウィンドウを開きます。
7. Save [保存]をクリックして設定を保存します。



## 時間タスクの削除

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Time Task [時間タスク]に移動します (図6-9を参照)。
2. Clear All [すべてをクリア]をクリックして、プログラムされたすべての時間タスクを削除します。

## 時間タスク設定の別の時間タスクへのコピー

1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ Time Task [時間タスク]に移動します (図6-9を参照)。
2. Time Task num [時間タスク番号]ドロップダウンリストから、コピーする時間タスクを選択します。
3. Copy To Task No. [タスク番号にコピー]ドロップダウンリストから、コピーした設定を受け取る時間タスクを選択します。
4. Copy [コピー]をクリックします。

## PTZカメラのリスタート

PTZカメラをリスタートする必要がある場合は、このリスタート機能を実行できます。

図6-10 PTZリスタートインターフェース



1. Setup [設定] ▶ PTZ ▶ Function [機能] ▶ PTZ Restart [PTZリスタート]に移動します (図6-10を参照)。
2. PTZ Restart [PTZリスタート]をクリックして、PTZカメラをリスタートします。

## PTZ出荷時設定の復元

PTZカメラを出荷時設定にリセットする必要がある場合は、このデフォルト機能を実行できます。

図6-11 デフォルトインターフェース



1. Setup [設定]PTZFunction [機能]Default [デフォルト]に移動します (図6-11を参照)。
2. Default [デフォルト]をクリックして、出荷時設定をPTZカメラに適用します。

# 7

## イベントとアラームの設定

この章は以下の項で構成されています。

- [モーション検出の構成、91ページ](#)
- [ビデオタンパリングの構成、95ページ](#)
- [オーディオ検出の構成、96ページ](#)
- [スマートプランの構成、97ページ](#)
- [顔検出の構成、98ページ](#)
- [異常の構成、99ページ](#)
- [アラームの構成、101ページ](#)

---

### イベントの設定

---

#### モーション検出の構成

モーション検出オプションを構成して、指定したモーションが検出されたときのモーション検出アラームと録画を設定できます。

## ビデオモーション検出

図7-1 モーション検出 - ビデオ検出構成インターフェース

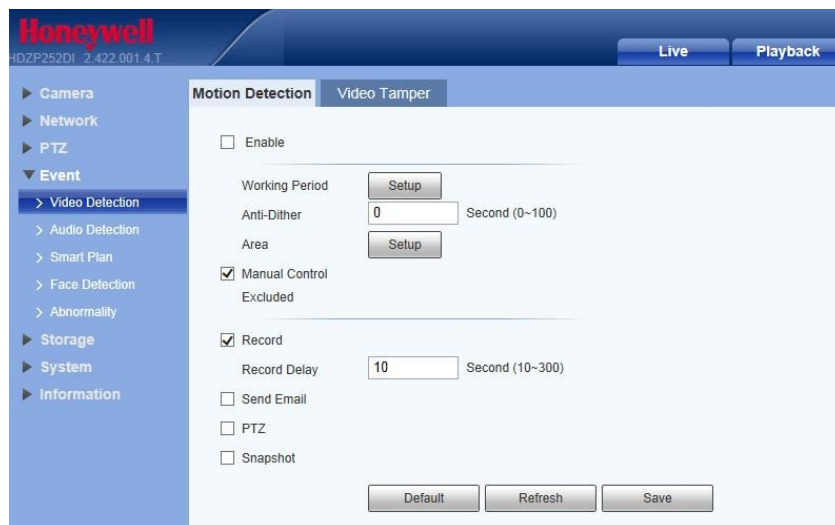


表7-1 モーション検出の構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	モーション検出を有効にするには、チェックを入れます。
Working Period [作動期間]	警戒/警戒解除スケジュールを設定します。Setup [設定]をクリックして、作動期間ページを開きます。詳細については、 <a href="#">作動期間の構成、93ページ</a> を参照してください。
Anti Dither [アンチディザイヤー]	アンチディザイヤー期間中は、1つのイベントのみがログに記録されます。アンチディザイヤー期間を、0~100秒の範囲内で選択します。
Area [エリア]	モーション検出領域、感度、およびエリアを設定します。デフォルト設定はエリア全体をカバーします。詳細については、 <a href="#">モーション検出エリアの構成、94ページ</a> を参照してください。
Manual Control Excluded [マニュアル制御除外]	モーションイベントがアクティブな間、手動のPTZコントロールを無効にするには、Manual Control Excluded [マニュアル制御除外]ボックスにチェックを入れます。
Record [録画]	Record [録画]が有効な場合、モーション検出によって録画がトリガーされます。
Record Delay [録画遅延]	システムは、アラームが終了した後、指定された時間だけ録画の停止を遅らせることができます。遅延期間を、10~300秒の範囲内で選択します。
Send Email [Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときにEメールアラートが送信されます。この機能を使用するには、Eメール設定を構成する必要があります ( <a href="#">SMTP (Eメール)、59ページ</a> を参照)。
PTZ	モーションイベントがアクティブな場合に、PTZアクション (プリセット、ツアー、パターンのいずれか) を実行するようにカメラをプログラムするには、PTZボックスにチェックを入れます。ドロップダウンリストからアクションを選択し、2番目のドロップダウンリストから、実行するプリセット、ツアー、またはパターンの番号を選択します。
Snapshot [スナップショット]	モーション検出イベントがアクティブな間のモーション検出スナップショットファイル (静止画像) の保存を有効にするには、チェックを入れます。スナップショットの保存場所の設定方法については、 <a href="#">パス、65ページ</a> を参照してください。

## 作動期間の構成

警戒/警戒解除スケジュールを設定します。**Setup [設定]**をクリックして、作動期間ページを開きます。詳細については、[録画スケジュールとスナップショットスケジュール、64ページ](#)を参照してください。

1日あたり最大6つの期間を設定できます。該当する期間を有効にするには、表の中に円を描きます。

日付を選択します。日付を選択しない場合は、現在の設定が今日だけに適用されます。**All [すべて]**を選択すると、作業期間が週全体に適用されます。

**Save [保存]**をクリックして変更を保存します。システムはMotion Detection [モーション検出]インターフェースに戻ります。終了するには、**Save [保存]**をクリックします。

図7-2 作動期間の構成

The screenshot shows the 'Working Period' configuration window. It features a 24-hour grid for each day of the week. The 'Sunday' row is highlighted in green. Below the grid, there are radio buttons for 'All' and 'Sunday' (checked), and checkboxes for 'Monday' through 'Saturday'. Underneath, there are six 'Period' settings, each with a checkbox and a time range (e.g., '00 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59'). At the bottom, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

## モーション検出エリアの設定

モーション検出領域、感度、およびエリアを設定します。デフォルト設定はエリア全体をカバーします。これらの設定への変更を有効にするには、**Save [保存]**をクリックする必要があります。

図7-3 モーション検出エリアの構成

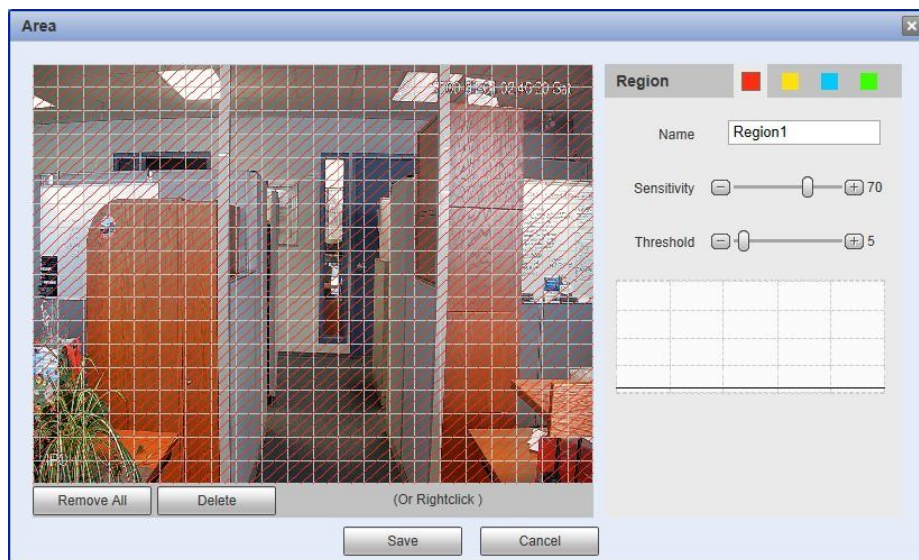


表7-2 モーション検出エリアの構成

パラメータ	機能
Region [領域]	異なるモーション検出設定（感度としきい値）を備えた最大4つの領域を設定できます。
Sensitivity [感度]	輝度感度を調節します。モーション検出を行うために輝度感度を上げる必要がある可能性があります。4つの領域それぞれに異なる感度を設定できます。感度は0～100の範囲です。選択する感度の推奨範囲は30～70です。デフォルトは50です。
Threshold [しきい値]	しきい値は、モーション検出アラームを鳴らすために必要なシーンの変化量を決定します。しきい値設定が低いほど、アラームが容易に鳴るようになります。4つの領域それぞれに異なるしきい値を設定できます。感度は0～100の範囲です。選択する感度の推奨範囲は10～50です。
Delete All [すべて消去]	すべてのモーション検出エリアを削除します。
Delete [削除]	選択したモーション検出領域を削除します。

## ビデオタンパリングの構成

図7-4 タンパリング構成インターフェース

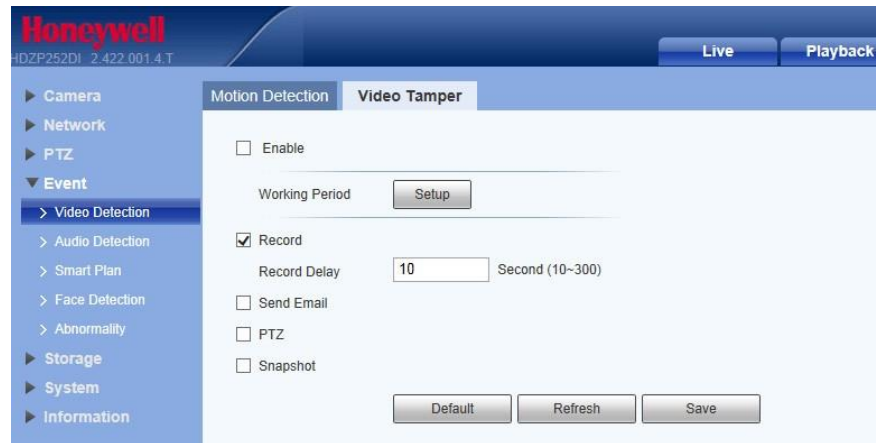


表7-3 タンパリングの構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	Video Tamper [ビデオタンパ]機能を有効にするには、チェックを入れます。
Working Period [作動期間]	指定された期間の間、ビデオマスキング機能が有効になります。詳細については、 <a href="#">作動期間の構成、93ページ</a> を参照してください。 1日あたり最大6つの期間を設定できます。該当する期間を有効にするには、表の中に円を描きます。
Record [録画]	Record [録画]が有効な場合、ビデオタンパリングによって録画がトリガーされます。
Record Delay [録画遅延]	システムは、録画を終了する前に指定された時間待機します。10~300秒の範囲内で選択します。
Send Email [Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときにEメールアラートが送信されます。この機能を使用するには、Eメール設定を構成する必要があります ( <a href="#">SMTP (Eメール)、59ページ</a> を参照)。
PTZ	タンパリングイベントがアクティブな場合に、PTZアクション (プリセット、ツアー、パターンのいずれか) を実行するようにカメラをプログラムするには、PTZボックスにチェックを入れます。ドロップダウンリストからアクションを選択し、2番目のドロップダウンリストから、実行するプリセット、ツアー、またはパターンの番号を選択します。
Snapshot [スナップショット]	ビデオタンパリングイベントがアクティブな間のタンパリングスナップショットファイル (静止画像) の保存を有効にするには、チェックを入れます。スナップショットの保存場所の設定方法については、 <a href="#">パス、65ページ</a> を参照してください。

## オーディオ検出の構成

オーディオ検出機能は、カメラシーンのオーディオの変化を検出して、イベントや対応するアクションを生成することができます。

図7-5 オーディオ検出構成インターフェース

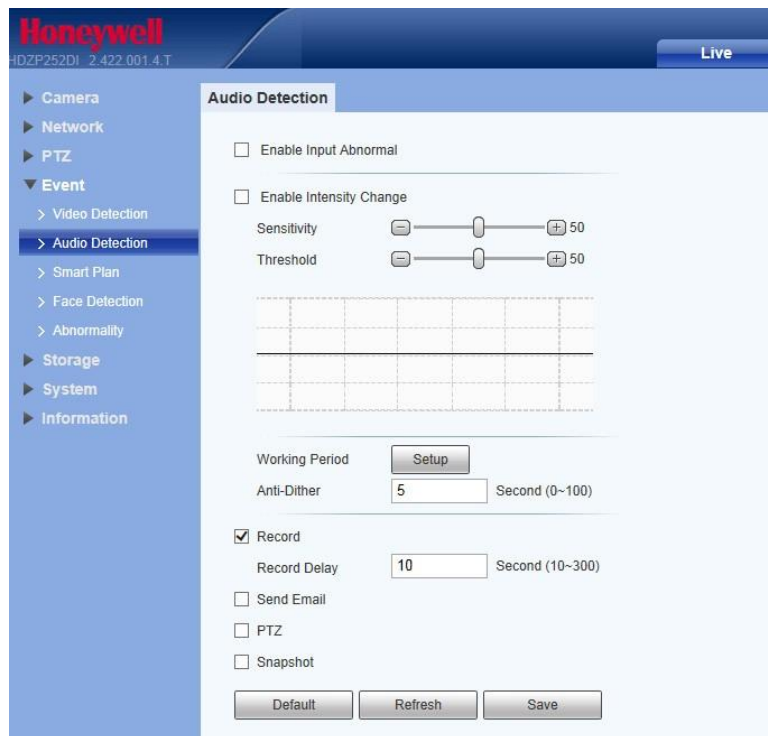


表7-4 オーディオ検出の構成

パラメータ	機能
Enable Input Abnormal [入力異常を有効化]	オーディオ入力異常機能を有効にするには、チェックを入れます。これは、オーディオ入力、カメラサイトで通常生成される「正常な」オーディオから変化したかどうかを検出します。
Enable Intensity Change [強度変化を有効化]	オーディオ強度変化機能を有効にするには、チェックを入れます。これは、オーディオの強度が変化するかどうか、つまり、音量レベルが標準レベルよりも強いかどうかを検出します。
Sensitivity [感度]	オーディオ検出の感度レベルを1~100の範囲内で設定します。感度とは、音声認識の感度をパーセントで表したものです。Sensitivity [感度]スライダを高感度設定に移動すると、オーディオ検出感度が向上し、より多くのイベントが検出されます。
Threshold [しきい値]	オーディオ検出のしきい値レベルを1~100の範囲内で設定します。Threshold [しきい値]とは、強度変化のしきい値、言い換えればイベント通知をトリガーするのに必要な音量です。しきい値が小さいほど、より多くのイベントが検出されます。
Audio Detection Graph [オーディオ検出グラフ]	オーディオ検出を設定する最も良い方法は、誰かがカメラの前で音を立てている間に、感度としきい値の設定を試すことです。このグラフを使用して、生成されたオーディオとグラフに表示されたThreshold [しきい値]線を比較できます。



表7-4 オーディオ検出の構成 (続き)

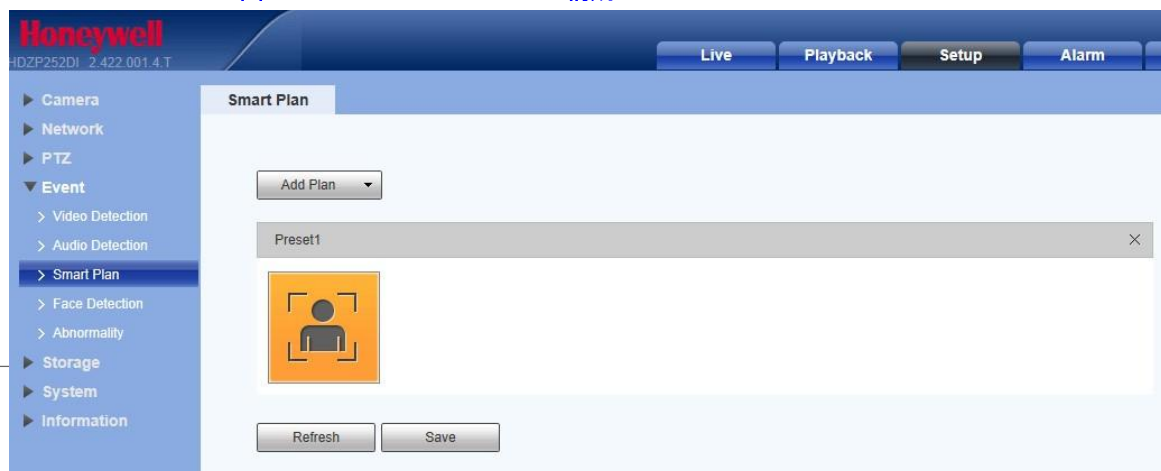
パラメータ	機能
Working Period [作動期間]	指定された期間の間、オーディオ検出が有効になります。詳細については、 <a href="#">作動期間の構成、93ページ</a> を参照してください。  Setup [セットアップ]をクリックします。1日あたり最大6つの期間を設定できます。該当する期間を有効にするには、表の中に円を描きます。日付を選択します。日付を選択しない場合は、現在の設定が今日だけに適用されます。All [すべて]を選択すると、作業期間が週全体に適用されます。  Save [保存]をクリックして変更を保存します。システムはAudio Detection [オーディオ検出]インターフェースに戻ります。Save [保存]をクリックして終了します。
Anti-Dither [アンチディザー]	アンチディザー期間中は、1つのイベントのみがログに記録されます。アンチディザー期間を、0~100秒の範囲内で選択します。
Record [録画]	Record [録画]が有効な場合、オーディオ検出によって録画がトリガーされます。
Record Delay [録画遅延]	システムは、録画を終了する前に指定された時間待機します。10~300秒の範囲内で選択します。
Send Email [Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときにEメールアラートが送信されます。この機能を使用するには、Eメール設定を構成する必要があります  (SMTP (Eメール)、54ページを参照)。
PTZ	オーディオイベントがアクティブな場合に、PTZアクション (プリセット、ツアー、パターンのいずれか) を実行するようにカメラをプログラムするには、PTZボックスにチェックを入れます。ドロップダウンリストからアクションを選択し、2番目のドロップダウンリストから、実行するプリセット、ツアー、またはパターンの番号を選択します。
Snapshot [スナップショット]	オーディオ検出イベントがアクティブな間のスナップショットファイル (静止画像) の保存を有効にするには、チェックを入れます。スナップショットの保存場所の設定方法については、 <a href="#">パス、62ページ</a> を参照してください。

## スマートプランの構成

スマートプランは、カメラでの、顔検出などの分析機能の使用を有効にするスイッチです。スマートプランを有効にするには、次を実行します。

1. Setup [設定] ▶ Event [イベント] ▶ Smart Plan [スマートプラン] に移動します ([図7-6](#)を参照)。

図7-6 スマートプラン構成インターフェース



2. **Add Plan [プランを追加]** ドロップダウンリストから、スマートプランを有効化するためのプリセット位置を選択します。スマートプランを有効化するには、1つ以上のプリセットをプログラムする必要があります（プリセットのプログラミング方法については、[PTZプリセット位置のプログラミング、79ページ](#)を参照してください）。
3. 顔検出アイコンをクリックしてオレンジ色に変え、**Save [保存]** をクリックします。
4. 複数のスマートプランが必要な場合は、他のプリセットについてこれらのステップを繰り返します。

**注** 顔検出機能を使用する場合は、スマートプランを有効にする必要があります。顔検出設定を構成し（[顔検出の構成、98ページ](#)を参照）、その後、顔検出の設定を完了するためにスマートプランを有効にします。

## 顔検出の構成

顔検出機能は、動画を分析して、人の顔が表示されるかどうかを検出します。顔が表示された場合、NVRまたはユーザーによる処理または分析をさらに進めるために、スナップショット、録画、またはアラームのいずれかを使用して顔をキャプチャします。

図7-7 顔検出構成インターフェース

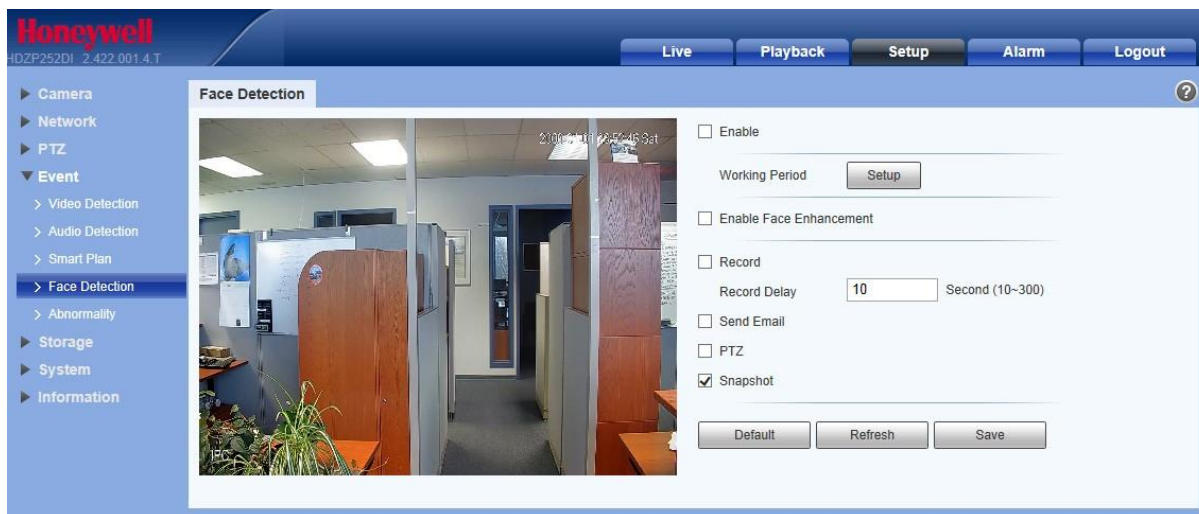


表7-5 顔検出の構成

パラメータ	機能
Enable [有効化]	顔検出機能を有効にするには、チェックを入れます。 指定された期間の間、顔検出が有効になります。詳細については、 <a href="#">作動期間の構成、93ページ</a> を参照してください。
Working Period [作動期間]	Setup [セットアップ] をクリックします。1日あたり最大6つの期間を設定できます。該当する期間を有効にするには、表の中に円を描きます。日付を選択します。日付を選択しない場合は、現在の設定が今日だけに適用されます。All [すべて] を選択すると、作業期間が週全体に適用されます。 Save [保存] をクリックして変更を保存します。システムはFace Detection [顔検出] インターフェースに戻ります。Save [保存] をクリックして終了します。

表7-5 顔検出の構成 (続き)

パラメータ	機能
Enable Face Enhancement [顔エンハンスを有効化]	ストリーム解像度が低い場合でも、優先度によって顔が明瞭に表示されるようにするには、Enable Face Enhancement [顔エンハンスを有効化]にチェックを入れます。
Record [録画]	Record [録画]が有効な場合、顔検出によって録画がトリガーされます。
Record Delay [録画遅延]	システムは、録画を終了する前に指定された時間待機します。 10~300秒の範囲内で選択します。
Send Email [Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときにEメールアラートが送信されます。この機能を使用するには、Eメール設定を構成する必要があります ( <a href="#">SMTP (Eメール)</a> 、 <a href="#">54ページ</a> を参照)。
PTZ	イベントがアクティブな場合に、PTZアクション (プリセット、ツアー、パターンのいずれか) を実行するようにカメラをプログラムするには、PTZボックスにチェックを入れます。ドロップダウンリストからアクションを選択し、2番目のドロップダウンリストから、実行するプリセット、ツアー、またはパターンの番号を選択します。
Snapshot [スナップショット]	顔検出イベントがアクティブな間のスナップショットファイル (静止画像) の保存を有効にするには、チェックを入れます。スナップショットの保存場所の設定方法については、 <a href="#">パス</a> 、 <a href="#">62ページ</a> を参照してください。

**注** 顔検出機能を使用する場合は、スマートプランを有効にする必要があります。顔検出設定を構成し、その後、顔検出設定を完了するためにスマートプランを有効にします ([スマートプランの構成](#)、[97ページ](#)を参照)。

## 異常の構成

異常には、No SD Card [SDカードなし]、Capacity Warning [容量警告]、SD Card Error [SDカードエラー]、Network Disconnection [ネットワークの切断]、IP Conflict [IP競合]、および Unauthorized Access [不正アクセス]が含まれます。

### マイクロSDカードの異常の構成

マイクロSDカードの異常にはNo SD Card [SDカードなし]、SD Card Error [SDカードエラー] およびCapacity Warning [容量警告]があります。

**注** マイクロSDカード装備のカメラのみが、次の異常を検出できます。No SD Card [SDカードなし]、Capacity Warning [容量警告]、およびSD Card Error [SDカードエラー]。

図7-8 SDカードなし警告構成インターフェース



1. ドロップダウンリストからSDカードのEvent Type [イベントタイプ]を選択します。
2. 選択したマイクロSDカードでエラーが発生したときに、アラームがトリガーされるように Enable [有効化]をクリックします。
3. SDカードがどのぐらいの容量に達したら容量警告を送信するかのしきい値として、Capacity Warning [容量警告]マイクロSDカードエラーのCapacity Limit [容量限界]を入力します。
4. Save [保存]をクリックして設定を保存します。

## ネットワーク異常の構成

これらのオプションを使用して、ネットワークの切断やIP競合などのネットワーク異常を設定できます。

図7-9 ネットワークの切断構成インターフェース



1. ドロップダウンリストからネットワークのEvent Type [イベントタイプ]を選択します。
2. ネットワークの切断またはIP競合が発生したときにアラームをトリガーするには、Enable [有効化]をクリックします。
3. Save [保存]をクリックして設定を保存します。

## 不正アクセスの構成

誰かが不適切なパスワードを使用して複数回ログインを試みた際に、Illegal Access [不正アクセス]が有効な場合は、アラームが発生します。不正アクセスアラームを発生させるまでの許容試行回数を指定できます。

図7-10 不正アクセス構成インターフェース



1. カメラへの不正アクセスが試みられたときにアラームがトリガーされるようにするには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
2. 不正アクセスがトリガーされる前に、ユーザーがログインできる回数を入力します。3～10回のログイン試行回数を選択します。
3. **Save [保存]**をクリックして設定を保存します。

## アラームの設定

Alarm [アラーム]タブをクリックしてアラーム構成インターフェースを開きます。

図7-11 アラーム構成インターフェース

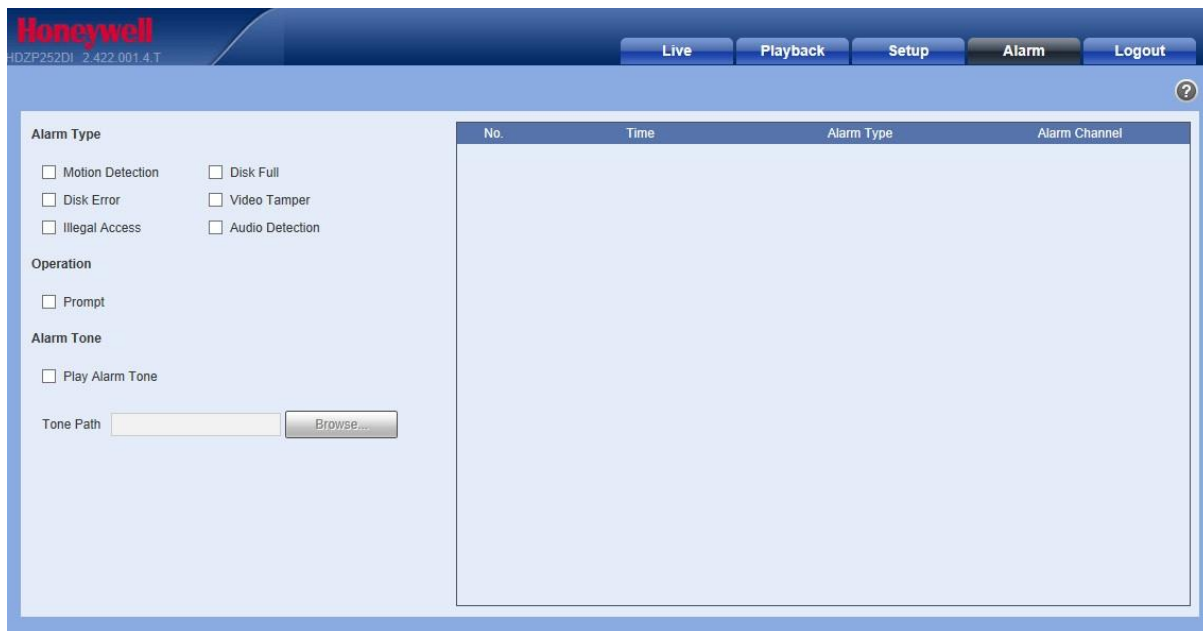


表7-6 アラームの構成

タイプ	パラメータ	機能
Alarm Type [アラームタイプ]	Motion Detection [モーション検出]	モーション検出イベントが発生すると、システムはアラームを發します。
	Video Tamper [ビデオタンパ]	カメラが改ざんされると、システムはアラームを發します。
	Disk Full [ディスク満杯]	ディスク（マイクロSDカード）が満杯になると、システムはアラームを發します。
	Disk Error [ディスクエラー]	ディスクエラーが発生すると、システムはアラーム情報を記録します。
	Illegal Access [不正アクセス]	カメラへの不正アクセスが試みられると、システムはアラームを發します。
	Audio Detection [オーディオ検出]	オーディオ検出イベントが発生すると、システムはアラームを發します。
Operation [操作]	Prompt [プロンプト]	アラームが発生すると、システムはアラームダイアログボックスをポップアップします。
Alarm Tone [アラームトーン]	Play Alarm Tone [アラームトーンを再生]	アラームが発生すると、システムは自動的に可聴音を生成します。アラーム音入力で、PCから音を選択することができます。
	Tone Path [トーンパス]	<b>Browse [参照]</b> をクリックして、アラーム音ファイルを選択します。



## トラブルシューティング

パフォーマンスの問題を解決するには、次のガイドラインを参照してください。更にサポートが必要な場合は、Honeywell テクニカルサポートにご連絡ください（連絡先情報は裏面に記載されています）。

ダウンロードしたファイルを再生できない。

- カメラに同梱されたCDに収録されているプレーヤーを使用してください。
- PCIにDirectX8.1以上がインストールされていることを確認してください。
- AVIファイルを再生するにはDivX503Bundle.exeプラグインをインストールしてください。
- Windows XPの場合は、ffdshowコーデックをインストールしてください。

埋め込み型NVR解像度が1080p以下に設定されていると、カメラのフレーム率を20fpsより大きく設定できない。

1. NVRで、NVR設定に移動して解像度を1080pに設定し、Save [保存]をクリックします。
2. Remote Device [遠隔デバイス]に移動してDelete [削除]をクリックしてカメラを削除します。次に、Searched Device [検索したデバイス]領域でカメラを選択してAdd [追加]をクリックします。
3. Added Device [追加したデバイス]領域でカメラのModify [変更]をクリックします。製造元のドロップダウンリストからONVIFを選択し、Save [保存]をクリックします。

これで、NVR側で1080p以下の解像度でフレーム率を20fps以上に設定できるようになります。

ダウンロードしたファイルを再生できない。

1. NVRが3MP (2304×1296) 解像度をサポートしていることを確認してください。
2. NVRで、NVR設定 Remote Device [リモートデバイス]に移動して、Added Device [追加したデバイス]領域で3MPカメラのModify [変更]をクリックします。製造元のドロップダウンリストからONVIFを選択し、Save [保存]をクリックします。これで、NVR側で3メガピクセル解像度を設定できます。

IR動画の画質が悪い。

- 電力供給が適切であることを確認してください。電力供給が不十分だと、赤外線ライトをサポートできない場合があります。
- 照らし出す対象物がカメラのIR範囲内にあることを確認します。
- IRカットフィルターがNight [夜間]モードに切り替わらない場合、カメラ前面の感光性チップが誤動作している可能性があります。

ネットワーク経由でファームウェアをアップグレードできない

- ネットワーク経由でファームウェアをアップグレードできない場合は、ポート3800を使用してみてください。

---

<p>Webクライアントをインストールできない/Webクライアントにログインできない。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ブラウザのセキュリティ設定でActiveXコントロールが許可されていることを確認してください。</li><li>• PCにDirectX8.1以上がインストールされていることを確認してください。</li><li>• 有効なネットワーク設定ができていて、正しいログインユーザー名とパスワードを使用していることを確認してください。</li></ul>
<p>カメラハウジングへの水漏れ。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• フロントガラスキャップとリア防水キャップがしっかり取り付けられていることを確認してください。フロントキャップとリアキャップを緩めたり取り外したりすると、水がハウジングに入ることがあります。</li></ul>
<p>電源が不安定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 付属の電源アダプタの動作温度範囲は、0°C~40°Cです。氷点下でカメラを操作する場合は、産業用レベルの電源アダプタに交換してください。</li><li>• UPS電源の使用を強く推奨いたします。</li></ul>

---



# B

## カメラの仕様

### HDZP252DI PTZドームカメラ

表B-1 HDZP252DIの仕様

カメラ本体	
画像センサー	1/2.8" 2メガピクセルプログレッシブスキャンCMOS
画素数 (H×V)	1920×1080 (1080p)
最小照度	0.05ルクス@ F1.4 (カラー) /0ルクス (白黒、外線LEDオン)
レンズ	4.7～94 mm @ F1.4～F2.6
フォーカスモード	手動/自動/半自動
光学ズーム	25x
デジタルズーム	16x
水平画角	59.2°-2.4°
S/N比	50 dB以上
IR範囲	最高100 m (被写体の反射率により異なる)
デイ/ナイト機能	自動 (ICR) /カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR
ホワイトバランス	自動/手動/屋内/屋外/ATW
ノイズ低減	3D DNR
モーション検出	最大4エリア
プライバシーマスク	最大24エリア
PTZ	
パン回転	360°エンドレス
チルト回転	-15°～90°、オートフリップ180°
手動パン速度	0.1～200°/秒
手動チルト速度	0.1～120°/秒
プリセット	300
プリセット速度	パン：最大240°/秒 チルト：最大200°/秒
ツアー	8

表B-1 HDZP252DIの仕様 (続き)

自動パン/スキャン	1/5
パターン	5
画像回転	フリップ
オーディオ入力/出力	1/1
アラーム入力/出力	2/1
<b>ビデオ</b>	
圧縮	H.264/H.265/MJPEG
解像度	最大1920x1080p
フレームレート	プライマリストリーム：最大60/50 fps セカンド/サードストリーム：最大25/30 fps
ビットレート (H.264)	4~8192 kbps
ローカルストレージ	マイクロSD、最大128 GB
オーディオ圧縮	G.711a/G.711u (32kbps) /PCM (128kbps)
オーディオストリーム	全二重、片方向
<b>ネットワーク</b>	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、SSL、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IPフィルタ、QoS、Bonjour、802.1x
互換性	ONVIF
ユーザーアクセス	最大20ユーザー
モバイルアプリ	iPhone版、Androidスマートフォン版、およびタブレット版のHonView Touch
<b>General [一般]</b>	
電源	12 VDC、PoE+ (802.3at)
消費電力	13 W/20 W (最大) (ヒーターオン)
動作温度範囲	-40°C~70°C
相対湿度	95%未満で非結露 IP保護等級 IP66
寸法	169×295 mm
重量	2.0 kg
規制	FCC： Part 15B Class A
システム互換性	HEN041**(X) H.264 4チャンネル 1080p埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081**(X) H.264 8チャンネル 1080p埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161**(X) H.264 16チャンネル 1080p埋め込み型ネットワークビデオレコーダー



**Honeywell Security Products Americas (本社)**

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite  
150 Louisville, KY 40299, USA  
[www.honeywell.com/security](http://www.honeywell.com/security)  
☎ +1 800 323 4576

**Honeywell Security Europe/South Africa**

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial  
Estate Runcorn, WA7 3DL, United Kingdom  
[www.honeywell.com/security/uk](http://www.honeywell.com/security/uk)  
☎ +44 (0) 1928 754 028

**Honeywell Security Products Americas  
Caribbean/Latin America**

9315 NW 112th Ave.  
Miami, FL 33178, USA  
[www.honeywell.com/security/clar](http://www.honeywell.com/security/clar)  
☎ +1 305 805 8188

**Honeywell Security Asia**

35F Tower A, City Center, 100 Zun Yi Road  
Shanghai 200051, China  
[www.asia.security.honeywell.com](http://www.asia.security.honeywell.com)  
☎ +86 21 2219 6888

**Honeywell Security Middle East/N.Africa**

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road  
Building No. 2, Office No. 301  
Post Office Box 232362  
Dubai, United Arab Emirates  
[www.honeywell.com/security/me](http://www.honeywell.com/security/me)  
☎ +971 (0) 4 450 5800

**Honeywell Security Northern Europe**

Ampèrestraat 41  
1446 TR Purmerend, The Netherlands  
[www.honeywell.com/security/nl](http://www.honeywell.com/security/nl)  
☎ +31 (0) 299 410 200

**Honeywell Security Deutschland**

Johannes-Mauthe-Straße 14  
72458 Albstadt, Germany  
[www.honeywell.com/security/de](http://www.honeywell.com/security/de)  
☎ +49 (0) 7431 801-0

**Honeywell Security France**

Immeuble Lavoisier  
Parc de Haute Technologie  
3-7 rue Georges Besse  
92160 Antony, France  
[www.honeywell.com/security/fr](http://www.honeywell.com/security/fr)  
☎ +33 (0) 1 40 96 20 50

**Honeywell Security Italia SpA**

Via della Resistenza 53/59  
20090 Buccinasco  
Milan, Italy  
[www.honeywell.com/security/it](http://www.honeywell.com/security/it)  
☎ +39 (0) 2 4888 051

**Honeywell Security España**

Avenida de Italia, nº 7, 2ª planta  
C.T.Coslada  
28821 Coslada, Madrid, Spain  
[www.honeywell.com/security/es](http://www.honeywell.com/security/es)  
☎ +34 902 667 800

**Honeywell Security РоссияиСНГ**

121059 Moscow, UI, Kiev 7  
Russia  
[www.honeywell.com/security/ru](http://www.honeywell.com/security/ru)  
☎ +7 (495) 797-93-71

# Honeywell

[www.honeywell.com/security](http://www.honeywell.com/security)

+1 800 323 4576 (North America only)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

文書 800-22757 –改正 A – 02/2017

© 2017 Honeywell International Inc. All rights reserved. Honeywellの書面による承諾なしに本書の全部または一部を転載することはできません。本書の情報はあらゆる点で正確を期しています。Honeywellは、製品の使用に起因するいかなる結果についても責任を負いません。本書に記載の情報は予告無く変更する場合があります。本書の改訂版や新規作成版には当該の変更を反映するものとします。